

参考資料

令和5年度 老人保健健康増進等事業
「PDCAサイクルに沿った介護予防の取組を推進するための
データ活用方策に関する調査研究事業」

市町村等二一ズ調査の詳細集計結果

令和6年5月20日

一般財団法人 厚生労働統計協会

目次

1. 参考資料について	P 3
2. 集計条件等	P 7
3. 各区分の定義と基礎集計	P 10
4. 詳細集計結果の概要	P 18
5. 全体の考察	P 35
付録：各設問の詳細集計	P 37

1. 参考資料について

1. 参考資料について（1／3）

（1）報告書と参考資料の関係について

一般財団法人厚生労働統計協会の『令和5年度 老人保健健康増進等事業「PDCAサイクルに沿った介護予防の取組を推進するためのデータ活用方策に関する調査研究事業」』（以下、「R5年度老健事業」という。）では、「医療データと介護データの利活用のニーズについての調査（以下、市町村等ニーズ調査）」を実施した。

この調査の結果について、上記研究の報告書（以下、「報告書」という。）では、「5. 令和4年度研究成果の周知と市町村等ニーズ調査（タスク4） 5. 7 集計結果」において、市町村等ニーズ調査の基本的な集計結果を掲載している。

市町村ニーズ調査については、上記の基本的な集計と併せ、人口区分や部門別等の詳細なクロス集計を行っており、本参考資料は、その詳細集計結果をまとめたものである。

1. 参考資料について（2／3）

（2）医療データと介護データの利活用ニーズについての調査

R5年度老健事業では、医療介護等データを総合的に集約・活用して情報提供する事により、地方自治体の介護予防施策の推進に貢献していく方策について検討した。
この研究を進めるためには、市町村等が、医療介護等データを利活用して介護予防施策等を進めていく中で、どのような課題を抱えており、また、厚生労働統計協会が老健事業で検討している「医療・介護データの活用の仕組み」等が、その課題の解決に貢献することができるかについて市町村等自身の意見を把握する必要があった。市町村ニーズ調査は、このために実施したものである。

調査方法等については、次項より説明を行う。

（3）医療データと介護データの利活用ニーズについての調査方法（1／2）

1）調査対象の市町村等

①SRC社（株式会社 サーベイリサーチセンター）が、介護保険事業計画策定のコンサル業務を受託している全国の市町村等に対し、本調査業務に係る研修を受けたSRC社員が、説明の上、調査票を配票して、郵送回収（当協会あて）し、当協会において集計を行った。

②加えて、R4老健事業等でヒアリングした市町村等及びその他調査業務等で繋がりのある市町村等に対しても、同様に説明の上、調査票を配票して郵送回収（当協会あて）した。

上記の調査方法で、157市町村等を調査対象とした。

1. 参考資料について（3 / 3）

（3）医療データと介護データの利活用ニーズについての調査方法（2 / 2）

2）調査対象の部門

ニーズ調査の対象部門は以下のとおり。市町村等では、介護予防施策については、実施施策内容によって複数の部門が担当することが一般的である。このため、1市町村等あたりに調査票を4部配票してニーズ調査を行った。

<対象部門>

介護保険事業計画部門（介護保険事業、地域包括ケア関連事業）

介護予防給付部門と地域支援事業部門（介護予防・日常生活支援総合事業、包括的支援事業）

保健部門（健診事業、保健事業と介護予防の一体的実施に係る事業）

3）調査期間

令和6年2月1日（金）～2月29日（木）

4）主な調査事項

医療・介護関連データの利活用状況、介護予防施策等について抱えている問題・課題等、及び厚生労働統計協会から提案する情報提供機能がその解決に貢献できるか等。

2. 集計条件等

2. 集計条件等（1／2）

集計条件等については、以下のとおりとした。

（1）集計結果を示す際に定義した用語

- ① 「市町村等」は、市町村に加え区及び広域連合等を含めた総称としている。
- ② 「回答市町村等数」は、調査票の回答依頼を行い、回答のあった市町村等数である。
- ③ 「回収全調査票数」は、回答のあった市町村等から回収した調査票数である。
- ④ 「該当数」は、複数回答を求める質問に対する回答が得られた数である。
- ⑤ 「調査票割合」は、各設問の「該当数」に対する「回収全調査票数」を分母として算出した割合である。
- ⑥ 「回答数」は、設問に対し選択肢の中からいずれかの回答が得られた数である。
- ⑦ 「構成割合」は、上記「回答数」を分母として算出した選択肢ごとの構成割合である。
- ⑧ 問 1 1～1 7 の「当該活用場面に回答があった有効調査票数」は、活用場面の設問の内 1 つでも問題・課題及び「医療・介護等データ活用の仕組み」への期待度に両方回答があった調査票の数である。
- ⑨ 問 1 1～1 7 の活用場面の設問の「問題・課題の回答数」及び「期待度の回答数」は、設問ごとの問題・課題及び「医療・介護等データ活用の仕組み」への期待度に両方回答があった調査票の数である。
- ⑩ 問 1 1～1 7 の「回答数割合」は、上記「問題・課題の回答数」に対して「当該活用場面に回答があった有効調査票数」を分母として算出した割合である。

2. 集計条件等（2／2）

（2）集計条件について

- ① 各市町村等には、複数部署における調査票の記入を依頼していることから、市町村等によって回答した調査票数は異なる。このため、ある市町村等から複数の調査票を回収したとしても、市町村による重み付けをせず、それぞれ個々の調査票として集計することとした。
- ② 問3の「回答部署の主な担当業務」の設問は複数選択可能としているため、設問の合計数は調査票数と必ずしも一致しない。
- ③ 問1 1～1 7の活用場面の設問の問題・課題及び「医療・介護等データ活用の仕組み」への期待度の回答数については、両方に回答があった場合のみ有効としているため、回答数の総数を一致させている。

3. 各区分の定義と基礎集計

3. 各区分の定義と基礎集計（1／7）

（1）調査票回答状況等（1／2）

本調査の回答状況等の基本情報を以下に示す。なお、他の回答に係る基本情報については、報告書133頁「（4）回答市町村等の基本情報」参照のこと。

1）回答市町村等数 及び 調査票回収率

本調査では、157市町村等に調査票依頼を行い、100市町村等約 6 割から回答が得られた。

調査票依頼 市町村等数	回答市町村等数	回収率
157	100	63.7%

2）回答市町村等の人口規模

回答が得られた100市町村等の人口規模の分布を以下の表に示す。

人口規模	回答市町村等数	比率
100万人以上	1	1.0%
50万人以上 ～ 100万人未満	5	5.0%
10万人以上 ～ 50万人未満	20	20.0%
5万人以上 ～ 10万人未満	24	24.0%
2万人以上 ～ 5万人未満	19	19.0%
1万人以上 ～ 2万人未満	11	11.0%
1万人未満	20	20.0%
総数	100	

3. 各区分の定義と基礎集計 (2 / 7)

(1) 回答状況等 (2 / 2)

3) 市町村等ごとの回収調査票数及び回答調査票数

回答が得られた100市町村等における市町村等ごとの回収調査票数を以下の表に示す。回答調査票数の総数は**278票**であった。

市町村等ごとの回収調査票数	回答市町村等数	比率
1	18	18.0%
2	20	20.0%
3	34	34.0%
4	24	24.0%
5	3	3.0%
6	0	0.0%
7	1	1.0%
総数	100	

4) 対象部署の主な担当業務 (複数回答)

回答が得られた278調査票の内、回答部署が担当する業務 (複数回答) を以下の表に示す。

No.	対象部署	該当数	調査票割合
1	事業計画部門 (介護保険、地域包括ケア)	114	41.0%
2	介護予防給付部門 (要支援1~2)	77	27.7%
3	地域支援事業部門 > 介護予防・日常生活支援総合事業	112	40.3%
4	地域支援事業部門 > 包括的支援事業	109	39.2%
5	保健部門 健診事業	72	25.9%
6	保健部門 保健事業と介護予防の一体的実施に係る事業	95	34.2%
7	その他	11	4.0%

3. 各区分の定義と基礎集計（3／7）

（2）各区分の定義について（1／2）

本参考資料で、集計する項目として利用している「人口区分」「部門区分」「医療介護等データ活用区分」については、以下の通り。

1）人口区分

「回収全調査票数（以下、全調査票）」および「～2万人未満」「2万人以上～10万人未満」「10万人以上～」の4区分で設定した。

2）部門区分

複数回答で設定したため、例えば一つの調査票に「事業計画部門」と「介護予防給付部門」両方の選択があった場合、どちらの部門での回答か判断が難しいため、以下の純粋な部門回答のみの調査票を、クロス集計の対象とし、区分は「全調査票」と以下の3部署の4区分とした。

①事業計画部門：選択肢「1 事業計画部門（介護保険、地域包括ケア）」のみ選択された調査票とし、その他の部署は選択されていないもの

②介護予防給付部門又は地域支援事業部門：選択肢「2 介護予防給付（要支援1～2）」or「3 地域支援事業部門＞介護予防・日常生活支援総合事業」or「4地域支援事業部門＞包括的支援事業」のいずれかのみが選択されている調査票とし、その他の部署は選択されていないもの

③保健部門：選択肢「5 保健部門 健診事業」or「6 保健部門 保健事業と介護予防の一体的実施に係る事業」のいずれかのみが選択されている調査票とし、その他の部署は選択されていないもの

（例：「2」と「3」の選択があった調査票は「②介護予防給付部門又は地域支援事業部門」とする。また、「1」を選択し、「6」も選択で入っているような調査票は部署別では除外で集計する。）

3. 各区分の定義と基礎集計 (4 / 7)

(2) 各区分の定義について (2 / 2)

3) 医療介護等データ活用区分

「医療介護等データ」の「医療」・「介護」の両データが含まれているシステム・ツール・サービス等の活用の有無を区分として定義した。

調査票の「問4 回答部門での医療介護等データやそれらに基づく、システム・ツール・サービス等の活用状況」の項目の内、「医療」・「介護」の両データが含まれている「①国保データベースシステム（以下、KDBシステム）の各種帳票出力」、「⑤KDBシステムの一体的実施・KDB活用支援ツール」のKDBシステム 関連のいずれかの項目について、「1 よく利用している」または「2 利用している」と回答しているものを「医療介護等データを活用している」とし、他の項目と集計を行うこととした。

区分としては、「全調査票」と「上記「①KDBシステムの各種帳票出力」または「⑤KDBシステムの一体的実施・KDB活用支援ツール」を「1 よく利用している」「2 利用している」と回答があったもの」と「利用している以外」の3区分とする。

なお、「利用している以外」とは、上記問の選択で、「利用している以外全く利用していない」、「利用環境、権限等がないので利用できない」及び「知らない・わからない」を選択した回答のこと。

3. 各区分の定義と基礎集計 (5 / 7)

前項で示した区分を踏まえた278調査票での区分ごとの基礎集計は以下の通りである。

(3) 区分別回答調査票総数

1) 人口区分別 (調査票数)

回答調査票を人口区分で集計した結果を以下の票に示す。人口区分を3区分がバランスよくわかれている。

人口区分	調査票数	割合
10万人以上	83	29.9%
2万人以上10万人未満	113	40.6%
2万人未満	82	29.5%
合計	278	100.0%

3. 各区分の定義と基礎集計 (6 / 7)

2) 部門区分 (調査票数) ※「問3 回答部署の主な担当業務等」の選択

回答調査票を部門区分別にみると「保健部門」の回答が最も多い。

部門区分	調査票数	割合
事業計画部門のみ選択	40	14.4%
介護予防給付部門又は地域支援事業部門のみ選択	57	20.5%
保健部門のみ選択	78	28.1%
その他 (複数の部門またはその他を選択)	103	37.1%
合計	278	100.0%

3) 人口区分別・部門区分別 (調査票数)

回答調査票を人口区分別に部門区分別をみると人口区分「2万人未満」で「保健部門」の回答が最も多い。

人口区分	部門区分				合計
	事業計画部門	介護予防給付部門又は地域支援事業部門	保健部門	その他	
10万人以上	12	20	20	31	83
2万人以上10万人未満	19	26	28	40	113
2万人未満	9	11	30	32	82
合計	40	57	78	103	278

3. 各区分の定義と基礎集計 (7 / 7)

4) 医療介護等データ利用区分 (調査票数)

KDBシステムの利用頻度について、医療介護等データ利用区分別にみると「利用している」との回答が56.5%となっている。

医療介護等データ利用区分 ※	調査票数	割合
利用している	157	56.5%
利用している以外	121	43.5%
合計	278	100.0%

※医療介護等データ利用区分

「**利用している**」は、問4の「①KDBシステムの各種帳票出力」または「⑤KDBシステムの一体的実施・KDB活用支援ツール」の利用頻度を選択した場合のうち、「よく利用している」または「たまに利用している」を選択した回答のこと。

「**利用している以外**」は、上記問4の選択で、「全く利用していない」、「利用環境、権限等がないので利用できない」及び「知らない・わからない」を選択した回答のこと。

【参考】問4の「①KDBシステムの各種帳票出力」「⑤KDBシステムの一体的実施・KDB活用支援ツール」それぞれの利用頻度の構成割合は以下の表の通りである。

No.	設問	回答数	構成割合				
			1 よく利用 している	2 たまに利用 している	3 全く利用 していない	4 利用環境・権限 等がないので利 用できない	5 知らない・ わからない
1	国保データベースシステム（以降、KDBシステム）の各種帳票出力	273	23.8%	32.2%	23.4%	16.5%	4.0%
5	KDBシステムの一体的実施・KDB活用支援ツール	265	12.1%	31.7%	32.1%	15.1%	9.1%

※報告書136頁「図表5－29 「医療介護等データの活用状況」の集計結果」より一部抜粋

4. 詳細集計結果の概要

4. 詳細集計結果の概要（1 / 16）

（1）詳細集計結果の概要（1 / 2）

1) 詳細集計の内容

前項で示した区分「人口区分」「部門区分」「医療介護等データ活用区分」について、区分別集計で特徴が出ると考えられる設問を選び、区分ごとに詳細集計を行った。主な集計結果を次ページ以降で説明する。その他の詳細な集計表やグラフについては、巻末の付録として掲載している。

No.	問	設問内容	集計区分
1	4	回答部門での医療介護等データやそれらに基づく、システム・ツール・サービス等の活用状況	「人口区分」・ 「部門区分」
2	5	回答部門での医療介護等データやそれらに基づく、システム・ツール・サービス等利用での問題・課題	「人口区分」・ 「部門区分」・ 「医療介護等データ活用区分」
3	1 1 ～ 1 7	「医療・介護等データの活用の仕組み」を活用した場面について現状の問題・課題とその問題・課題の解決のための「医療介護等データ活用の仕組み」への期待度 ※「医療介護等データの活用の仕組み」および活用場面の詳細については、次ページで説明する。	「人口区分」・ 「部門区分」・ 「医療介護等データ活用区分」
4	1 8	厚生労働統計協会が提案する「医療介護等データの活用の仕組み」に対する全体を通じての要望等の確認	「人口区分」・ 「部門区分」・ 「医療介護等データ活用区分」

4. 詳細集計結果の概要 (2 / 16)

(1) 詳細集計結果の概要 (2 / 2)

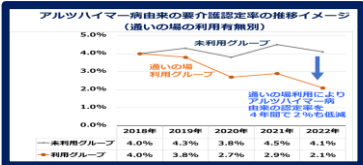
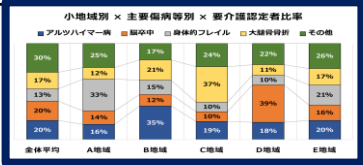
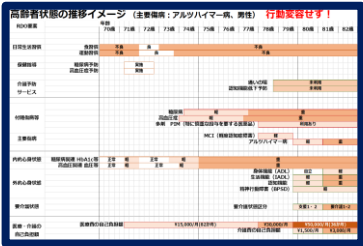
2) 「医療・介護等データの活用仕組み」および活用場面について

問1 1～1 7では、以下の3つのステップを用意し、回答を求めた。

- ①各活用場面ごとに、仮説として、現状の問題・課題（提案機能とは独立した内容）を示し、該当するものを選択
- ②その問題・課題の解決策案としての提案機能を説明
- ③①で示した問題・課題に対する解決策としての②の提案機能への期待度について、該当するものを選択

活用場面	医療・介護等データの活用仕組み（活用を想定する機能）
活用場面 1（問 1 1） 適切な介護予防スクリーニング	機能 1 重点的対象者出力機能 高齢者の要介護になるおそれのある段階や、悪化のリスクの高さ等を見る機能
活用場面 2（問 1 2） 効率と効果の高いアウトリーチ	
活用場面 3（問 1 3） 効率と質の高い地域ケア会議等の開催	機能 2 高齢者状態推移出力機能 高齢者の傷病状態・心身状態等を時系列で見る 機能
活用場面 4（問 1 4） 他職種とのスムーズな連携による効率と質の高い予防マネジメント	
活用場面 5（問 1 5） 高齢者の介護予防の取組に係る行動変容支援	
活用場面 6（問 1 6） 医療介護等データを統合した施策立案等に役立つ地域診断	機能 3 医療介護統合地域診断機能 各傷病別の要介護認定率や要介護のおそれの高い者の割合等を地域別に比較する機能
活用場面 7（問 1 7） 定量的かつ公正な介護予防施策の効果計測（費用対効果計測含む）	機能 4 介護予防施策効果計測機能 傷病ごとに、介護予防施策を利用した高齢者グループと使用しないグループを比較し、施策効果を見る機能

	アルツハイマー病	脳卒中	身体的フレイル	大腸骨骨折
高齢者	高齢者状態フェーズ	高齢者状態フェーズ	高齢者状態フェーズ	高齢者状態フェーズ
Aさん	Φ4 ×	Φ4 △	Φ2 △	Φ2 △
Bさん	Φ1 ○	Φ1 ○	Φ3 ○	Φ3 ○
Cさん	Φ3 ○	Φ3 ○	Φ6 ×	Φ5 ×
Dさん	Φ2 ○	Φ3 △	Φ2 ○	Φ3 △
1	1	1	1	1



4. 詳細集計結果の概要（3 / 16）

（2）主な詳細集計結果（1 / 14）

1）問4 回答部門での医療介護等データやそれらに基づく、システム・ツール・サービス等の活用状況

問4では、回答部門での医療介護等データやそれらに基づく、システム・ツール・サービス等の活用状況を確認する問題を設定した。

この問4では、データ及びシステム・ツール・サービス等ごとに11の設問を設け回答を得ており、「回答数」は、設問に対し選択肢の中からいずれかの回答が得られた数であり、「構成割合」は、選択肢ごとの回答数を設問内で回答が得られた総数を分母として算出した構成割合を示したものである。

次ページに、調査票－問4「回答部門での医療介護等データやそれらに基づく、システム・ツール・サービス等の活用状況」の集計結果の内特徴的な結果がでたものをグラフで示す。

「人口区分」「部門区分」で集計した結果、設問の「①KDBシステムの各種帳票出力（グラフ問4－1）」「③国保連経由で入手した介護給付費適正化システムの出カデータ（以下、介護給付費適正化システム）（グラフ問4－3）」「⑤KDBシステムの一体的実施・KDB活用支援ツール（グラフ問4－5）」「⑥厚労省の地域包括ケア「見える化」システム（以下、「見える化」システム）」（グラフ問4－6）」で特徴的な結果が見られた。

「人口区分」で見た結果、「①KDBシステムの各種帳票出力」「③介護給付費適正化システム」「⑤KDBシステムの一体的実施・KDB活用支援ツール」の3システム等について、人口規模が小さいほど利用されていることが示された。しかし、この結果は、今回の調査の回答では、人口規模が少ない市町村等が「保健部門」の回答の割合が大きいことが影響している可能性がある。

「部門区分」では、「①KDBシステムの各種帳票出力」「⑤KDBシステムの一体的実施・KDB活用支援ツール」は、保健部門の利用率が高く、介護予防部門等の利用率は、現状では低いことがわかった。

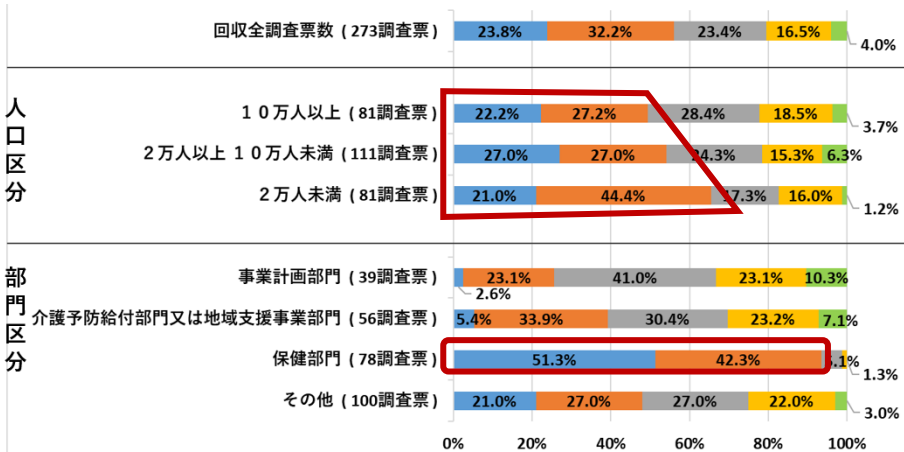
また、「③介護給付費適正化システム」と「⑥「見える化」システム」は、いずれも介護保険事業計画部門の利用率が高いことがわかった。特に「⑥「見える化」システム」は、100%に近い利用率であった。

4. 詳細集計結果の概要（4 / 16）

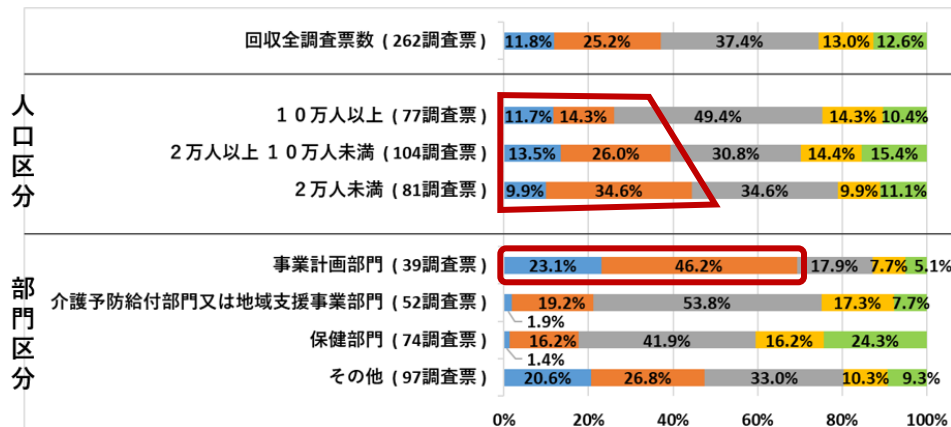
（2）主な調査結果（2 / 14）

1）問4 回答部門での医療介護等データやそれらに基づく、システム・ツール・サービス等の活用状況

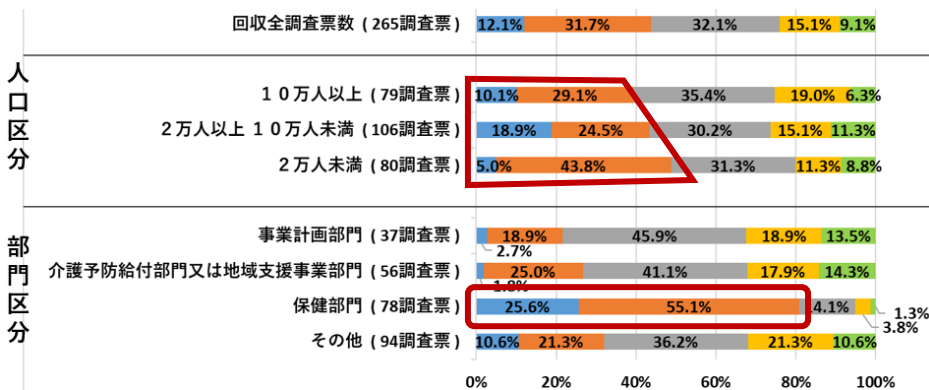
問4-1 KDBシステムの各種帳票出力



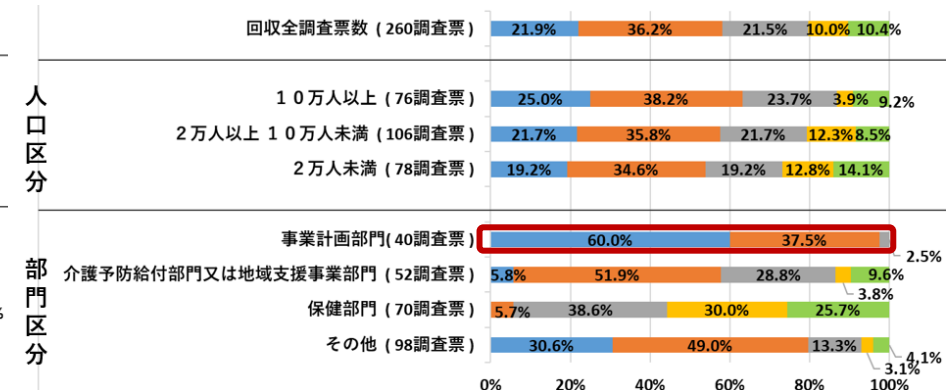
問4-3 国保連経由で入手した介護給付費適正化システムの出カデータ



問4-5 KDBシステムの一体的実施・KDB活用支援ツール



問4-6 厚労省の地域包括ケア「見える化」システム



■ よく利用している ■ たまに利用している ■ 全く利用していない ■ 利用環境・権限等がないので利用できない ■ 知らない・わからない

※その他のグラフについては、40～51頁の付録「2. 問4 データ&システム等の利用頻度等」記載

4. 詳細集計結果の概要（5 / 16）

（2）主な詳細集計結果（3 / 14）

2）問5 回答部門での医療介護等データやそれらに基づく、システム・ツール・サービス等利用での問題・課題

問5は、回答部門での医療介護等データやそれらに基づく、システム・ツール・サービス等を利用する上での問題・課題を確認する問題を設定した。

この問5では、問題・課題について複数回答で回答を求めており、「該当数」の総数は、「回答全調査票数」とは一致しない。また、「調査票割合」は「該当数」を「回答全調査票数」を分母として算出した割合である。

次ページに、調査票－問5「回答部門での医療介護等データやそれらに基づく、システム・ツール・サービス等利用での問題・課題」の集計結果を示す。

回収全調査票数で問題・課題であると回答した割合が一番高いのは、「2 各種データやシステム機能等を、十分に理解できていない」及び「3 データの二次加工・分析など、データ加工や分析に係るスキルが不足」で、約6割が回答している。

次に「人口区分」「部門区分」および「医療介護等データ活用区分」で比較したが、人口規模や事業部門ごとにデータの活用状況や環境が異なるため、回答に大きな差が出ると推測していたが、区分ごとでの大きな差は見られなかった。

4. 詳細集計結果の概要（6／16）

（2）主な詳細集計結果（4／14）

2）問5 回答部門での医療介護等データやそれらに基づく、システム・ツール・サービス等利用での問題・課題

No.	問題・課題	回収全調査 票数	人口区分			部門区分				医療介護等データ利用 区分	
			10万人以上	2万人以上 10万人未満	2万人未 満	事業計画 部門	介護予防 給付部門 又は地域 支援事業 部門	保健部門	その他	利用してい る	利用してい る以外
1	エビデンスデータ等に基づく、事業計画のPDCAが不十分に留まっている	28.4%	31.3%	27.4%	26.8%	22.5%	33.3%	23.1%	32.0%	24.2%	33.9%
2	各種データやシステム機能等を、十分理解できていない	70.9%	63.9%	74.3%	73.2%	72.5%	71.9%	57.7%	79.6%	66.9%	76.0%
3	データの二次加工・分析など、データ加工や分析に係るスキルが不足	65.8%	55.4%	64.6%	78.0%	60.0%	68.4%	66.7%	66.0%	69.4%	61.2%
4	分析結果を理解するための保健・医療・介護の専門的知識が不足	40.3%	41.0%	40.7%	39.0%	57.5%	35.1%	28.2%	45.6%	36.3%	45.5%
5	介護情報に加え、高齢者の傷病状態や服薬状況についても把握したいが難しい	16.9%	16.9%	15.0%	19.5%	7.5%	21.1%	12.8%	21.4%	17.8%	15.7%
6	KDBデータとその他KDBにないデータ（介護予防施策実績等）を結びつけたいが難しい	26.3%	30.1%	26.5%	22.0%	22.5%	24.6%	26.9%	28.2%	33.8%	16.5%
7	高齢者状態の把握には長期間の時系列追跡が必要だと考えるが実現は難しい	31.3%	41.0%	29.2%	24.4%	30.0%	36.8%	25.6%	33.0%	36.9%	24.0%
8	高齢者個人の状態を扱う際に、個人情報保護に配慮した運用が難しい	8.3%	14.5%	5.3%	6.1%	10.0%	12.3%	5.1%	7.8%	6.4%	10.7%
9	医療・介護レセプト等のビッグデータ分析などを行うための財政的負担が大きい	14.7%	20.5%	8.8%	17.1%	15.0%	10.5%	14.1%	17.5%	15.9%	13.2%
10	その他（具体的に）	5.8%	6.0%	8.8%	1.2%	5.0%	3.5%	7.7%	5.8%	5.7%	5.8%
11	特になし	5.8%	12.0%	2.7%	3.7%	0.0%	8.8%	5.1%	6.8%	2.5%	9.9%

※その他の表やグラフについては、52～56頁の付録「3. 問5 データ&システム等の利用に係る問題・課題」記載

4. 詳細集計結果の概要（7／16）

（2）主な詳細集計結果（5／14）

3) 問11～17 「医療・介護等データの活用の仕組み」を活用した場面について現状の問題・課題とその問題・課題の解決のための「医療介護等データ活用の仕組み」への期待度

問11～17は、7つの活用場面ごとに、「医療・介護等データの活用の仕組み」を活用した場面について、現状の問題・課題の認識、及びその問題・課題の解決のための「医療介護等データ活用の仕組み」への期待度の回答を求める問題を設定した。

問11～17では、「当該活用場面に回答があった有効調査票数」は、活用場面における問題・課題及び「医療・介護等データ活用の仕組み」への期待度に対し両方、または、そのいずれかに回答があった調査票の数である。

「問題・課題の回答数」は、活用場面ごとの問題・課題について回答が得られた数である。

「回答数割合」は、上記「問題・課題の回答数」に対して「当該活用場面に回答があった有効調査票数」を分母として算出した割合である。

「期待度の回答数」は、活用場面ごとの医療・介護等データ活用の仕組み」への期待度について、期待度が選択され回答が得られた数である。

区分ごとに集計した際に、「問題・課題」と「期待度」での結果を次ページより説明する。

4. 詳細集計結果の概要（8／16）

（2）主な詳細集計結果（6／14）

3) 問11～17 「医療・介護等データの活用の仕組み」を活用した場面について現状の問題・課題とその問題・課題の解決のための「医療介護等データ活用の仕組み」への期待度

①「問題・課題」について

活用場面ごとの問題や課題については、昨年度の先行課題探索調査結果等を踏まえた仮説として設定したが、全調査票については、設定した問題・課題に対して、7つの活用場面ごとに6～7割の問題・課題がありとの回答が得られ、仮説設定に大きなずれがないことが確認出来た。

（詳細は、報告書本編「5. 令和4年度研究成果の周知と市町村等二ズ調査（タスク4）」の「5.7 集計結果」の140～147頁の（10）活用場面における問題・課題及び「医療・介護データ活用の仕組み」への期待度を参照のこと）。

次ページに、調査票－問11～17「医療・介護等データの活用の仕組み」を活用した場面について、現状の問題・課題の区分別の集計結果のグラフで示す。

仮説として設定した場面毎の最初の総論的な設問に対して、高い割合で問題・課題が該当していると回答していることがわかり、仮説設定自体の正当性が検証されたと考えられる。また、いずれの場面においても、該当率が50%を超える問題・課題が、半数以上あることも明らかになった。

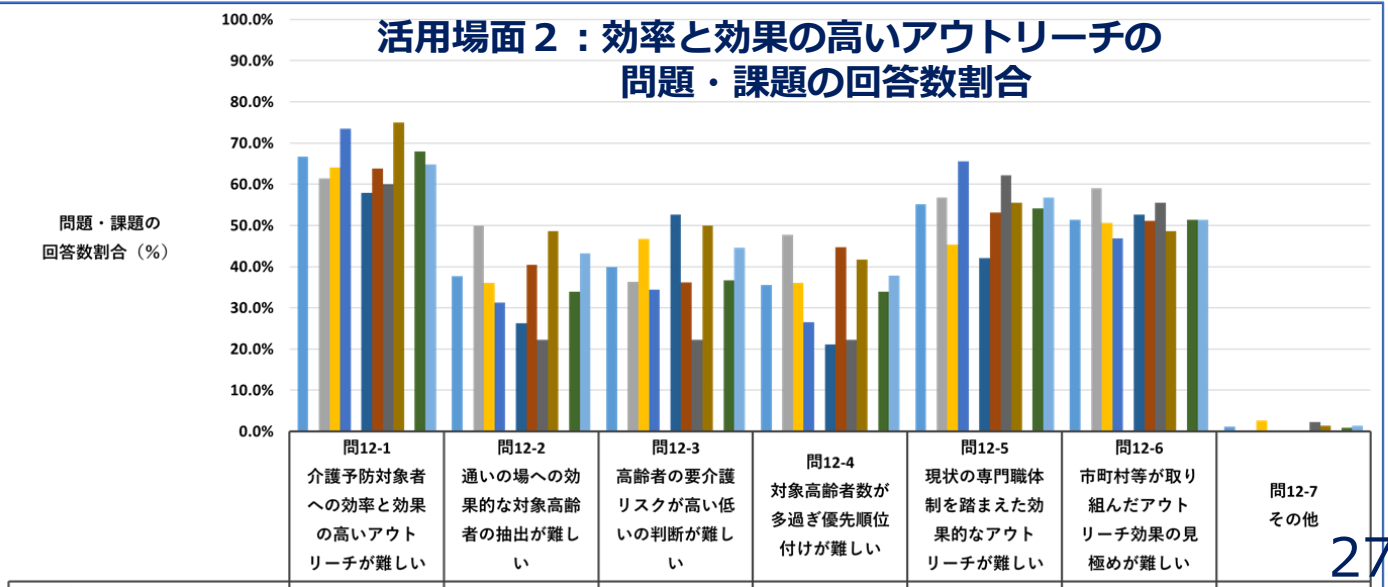
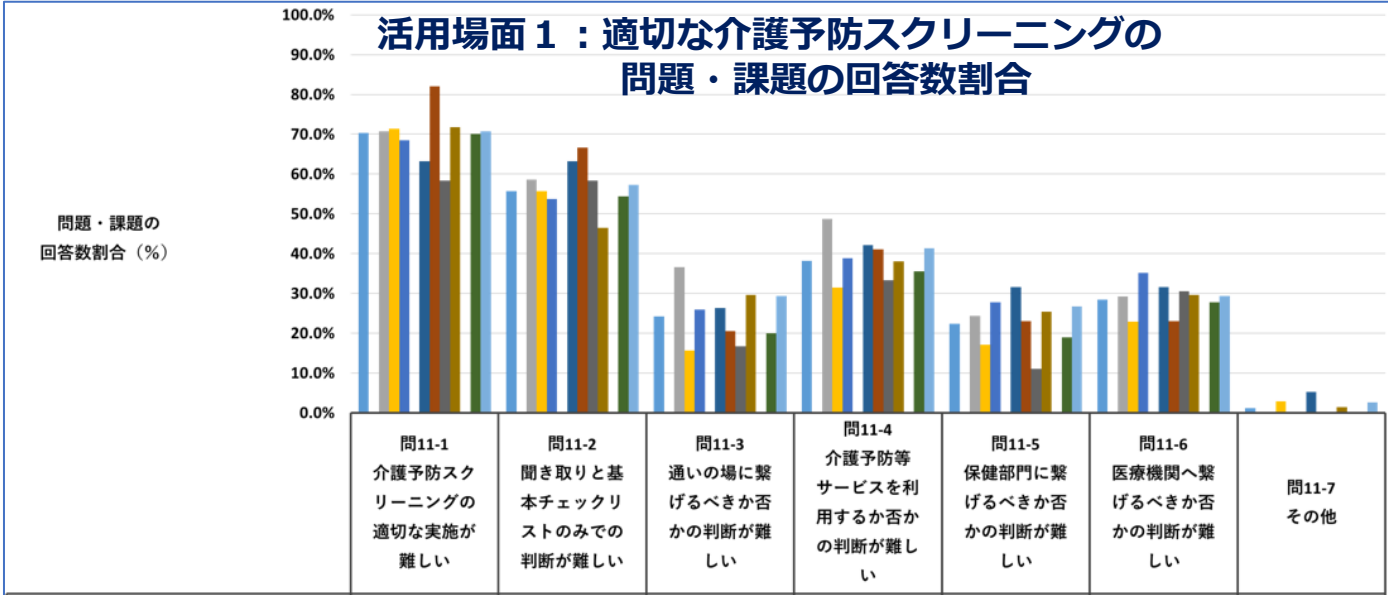
上記の結果を区分ごとに「問題・課題」の差を確認したが、「人口区分」「部門区分」「医療介護等データ活用区分」とともに大きな差は見られなかった。

4. 詳細集計結果の概要（9 / 16）

（2）主な詳細集計結果（7 / 14）

3) 問11～17 「医療・介護等データの活用の仕組み」を活用した場面について現状の問題・課題とその問題・課題の解決のための「医療介護等データ活用の仕組み」への期待度

人口区分 部門区分 データ利用区分	回収全調査票数
	10万人以上
	2万人以上10万人未満
	2万人未満
	事業計画部門
	介護予防給付部門又は地域支援事業部門
	保健部門
	その他
	利用している
	利用していない

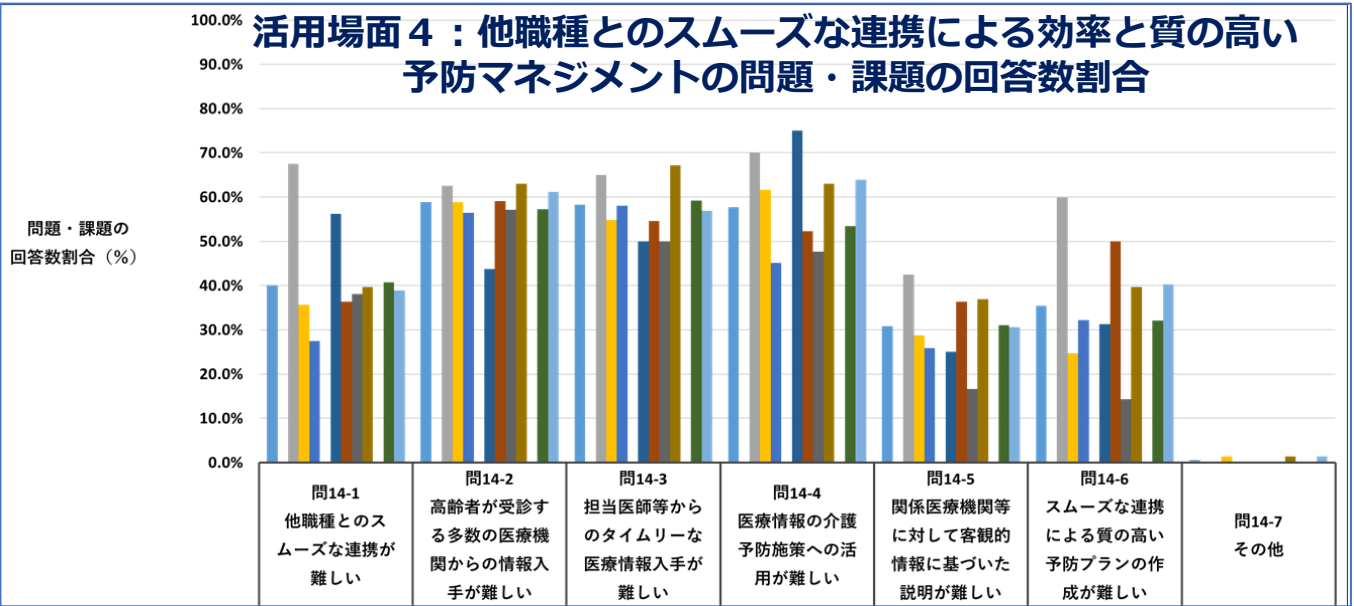
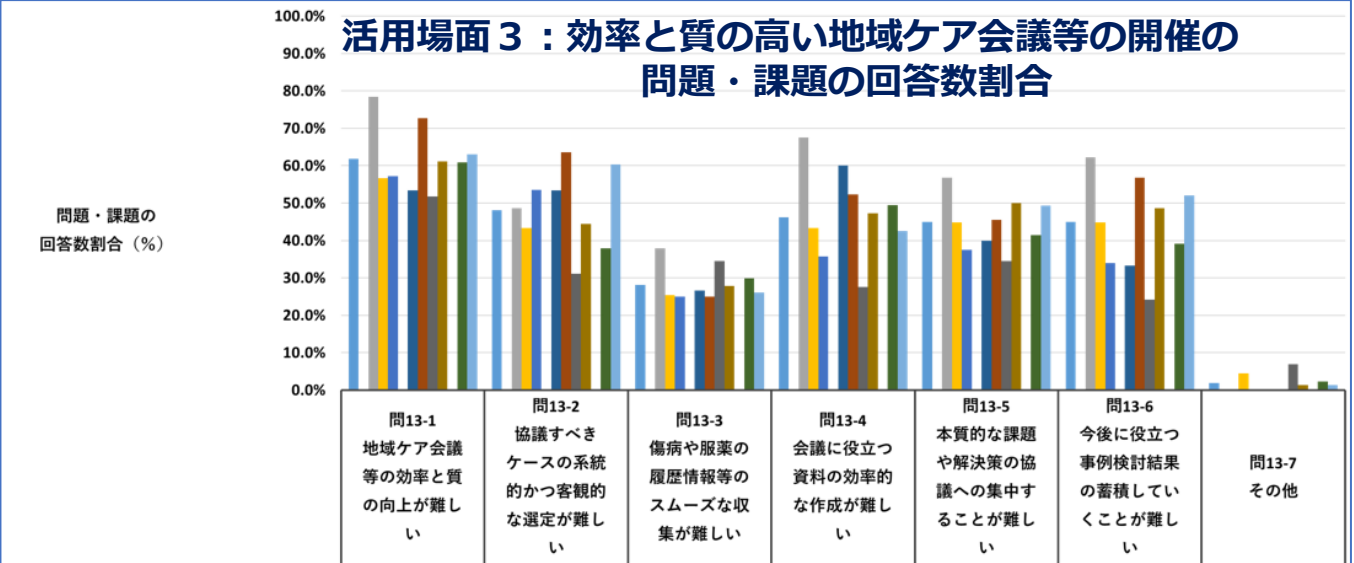


4. 詳細集計結果の概要（10／16）

(2) 主な詳細集計結果（8／14）

3) 問11～17 「医療・介護等データの活用の仕組み」を活用した場面について現状の問題・課題とその問題・課題の解決のための「医療介護等データ活用の仕組み」への期待度

人口区分 部門区分 データ利用区分	回収全調査票数	
	10万人以上	
	2万人以上10万人未満	
	2万人未満	
	事業計画部門	
	介護予防給付部門又は地域支援事業部門	
	保健部門	
	その他	
医療介護等	利用している	
	利用している以外	



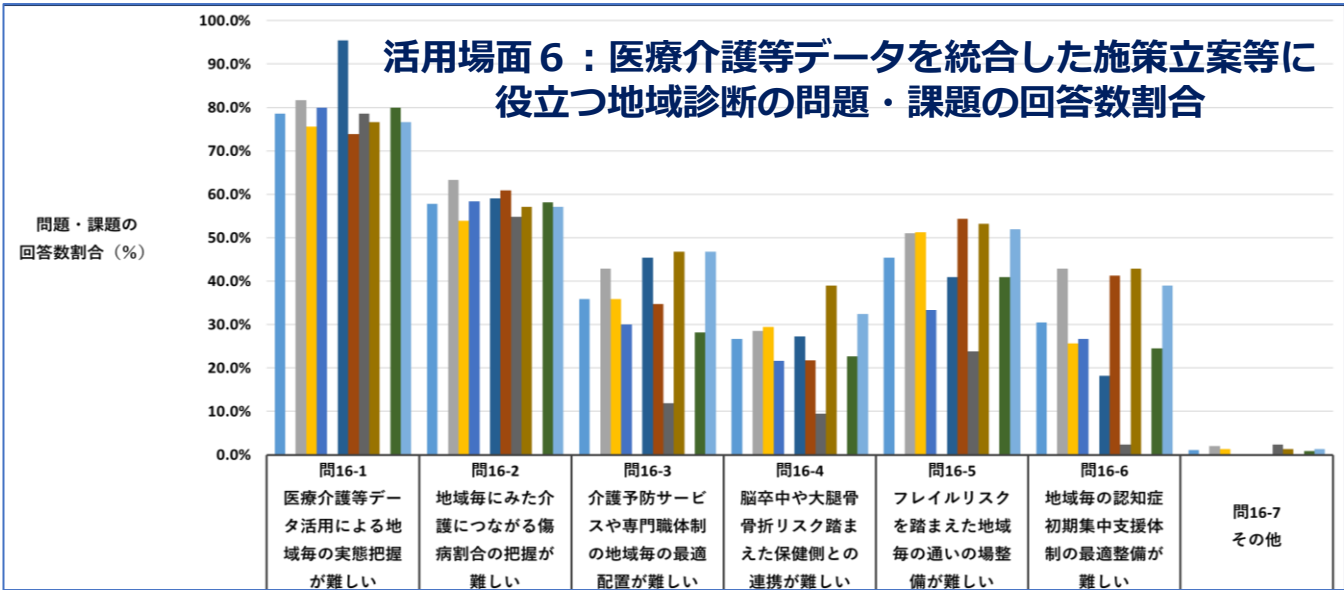
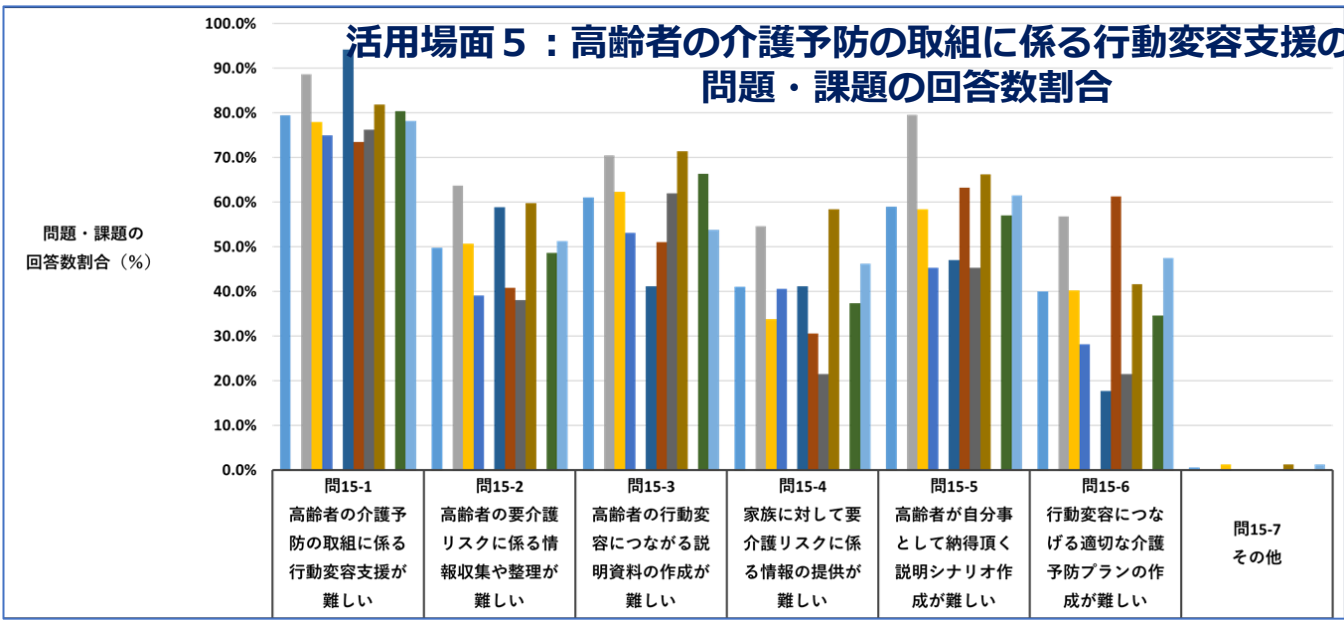
4. 詳細集計結果の概要（11／16）

（2）主な詳細集計結果（9／14）

3) 問11～17 「医療・介護等データの活用の仕組み」を活用した場面について現状の問題・課題とその問題・課題の解決のための「医療介護等データ活用の仕組み」への期待度

人口区分
部門区分
データ利用区分

■ 回収全調査票数
■ 10万人以上
■ 2万人以上10万人未満
■ 2万人未満
■ 事業計画部門
■ 介護予防給付部門又は地域支援事業部門
■ 保健部門
■ その他
■ 利用している
■ 利用していない



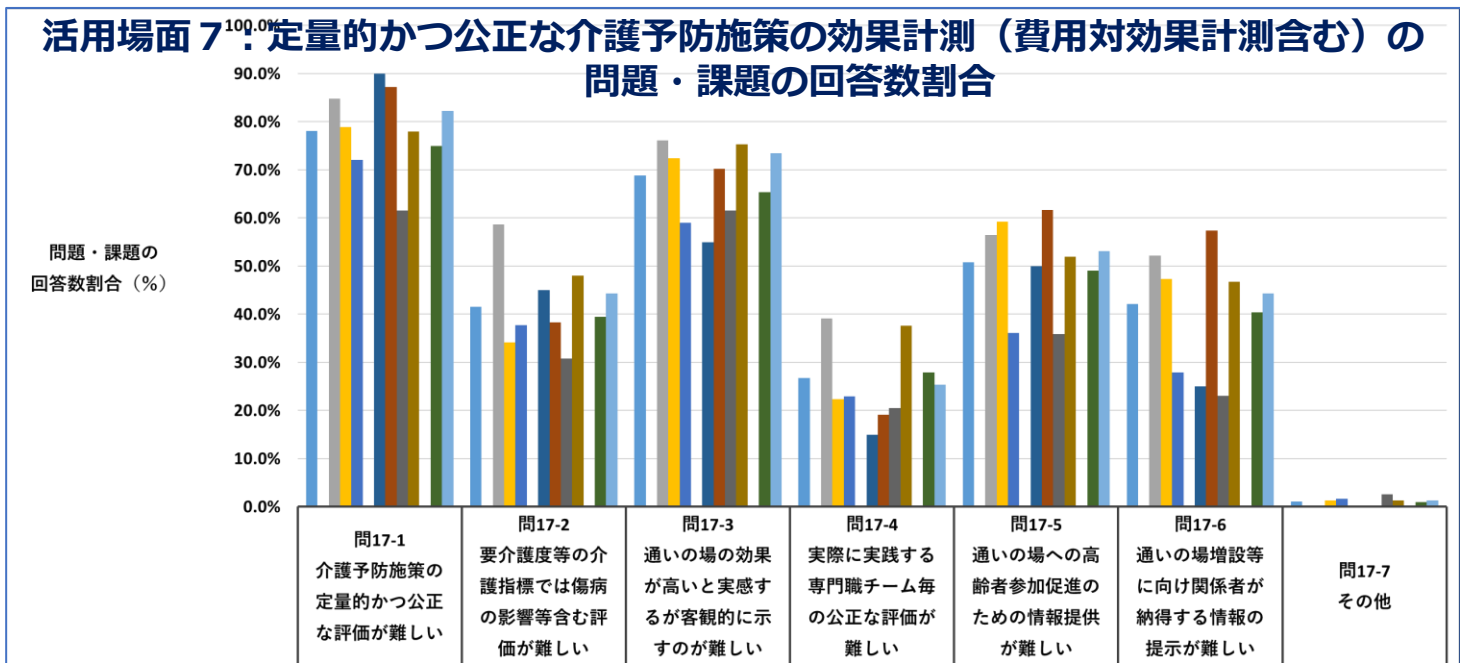
4. 詳細集計結果の概要（12／16）

（2）主な詳細集計結果（10／14）

3) 問11～17 「医療・介護等データの活用の仕組み」を活用した場面について現状の問題・課題とその問題・課題の解決のための「医療介護等データ活用の仕組み」への期待度

人口区分
部門区分
医療介護等
データ利用区分

■ 回収全調査票数
■ 10万人以上
■ 2万人以上10万人未満
■ 2万人未満
■ 事業計画部門
■ 介護予防給付部門又は地域支援事業部門
■ 保健部門
■ その他
■ 利用している
■ 利用していない



※その他の表やグラフについては、57～69頁の付録「4. 問11～17 7つの活用場面別における問題・課題と各機能への期待度 4.1 問題・課題」に記載

4. 詳細集計結果の概要（13／16）

（2）主な詳細集計結果（11／14）

3) 問11～17 「医療・介護等データの活用の仕組み」を活用した場面について現状の問題・課題とその問題・課題の解決のための「医療介護等データ活用の仕組み」への期待度

②「期待度」について

「期待度」について、活用場面ごとの問題・課題」に対する「医療介護等データの活用の仕組み」による解決への期待度は、非常に期待と期待を合わせると8～9割程度と、かなり高い期待度の結果が得られた。

（詳細は、報告書本編「5. 令和4年度研究成果の周知と市町村等二ズ調査（タスク4）」の「5.7 集計結果」の140～147頁の（10）活用場面における問題・課題及び「医療・介護データ活用の仕組み」への期待度を参照のこと）。

「期待度」については、「5 わからない」を除く各選択肢に対して、回答に応じて点数の重み付け（1大いに期待する(4点)、2期待する(3点)、3余り期待しない(2点)、全く期待しない(1点))を行い、有効回答数での「加重平均」を評価指標とした。

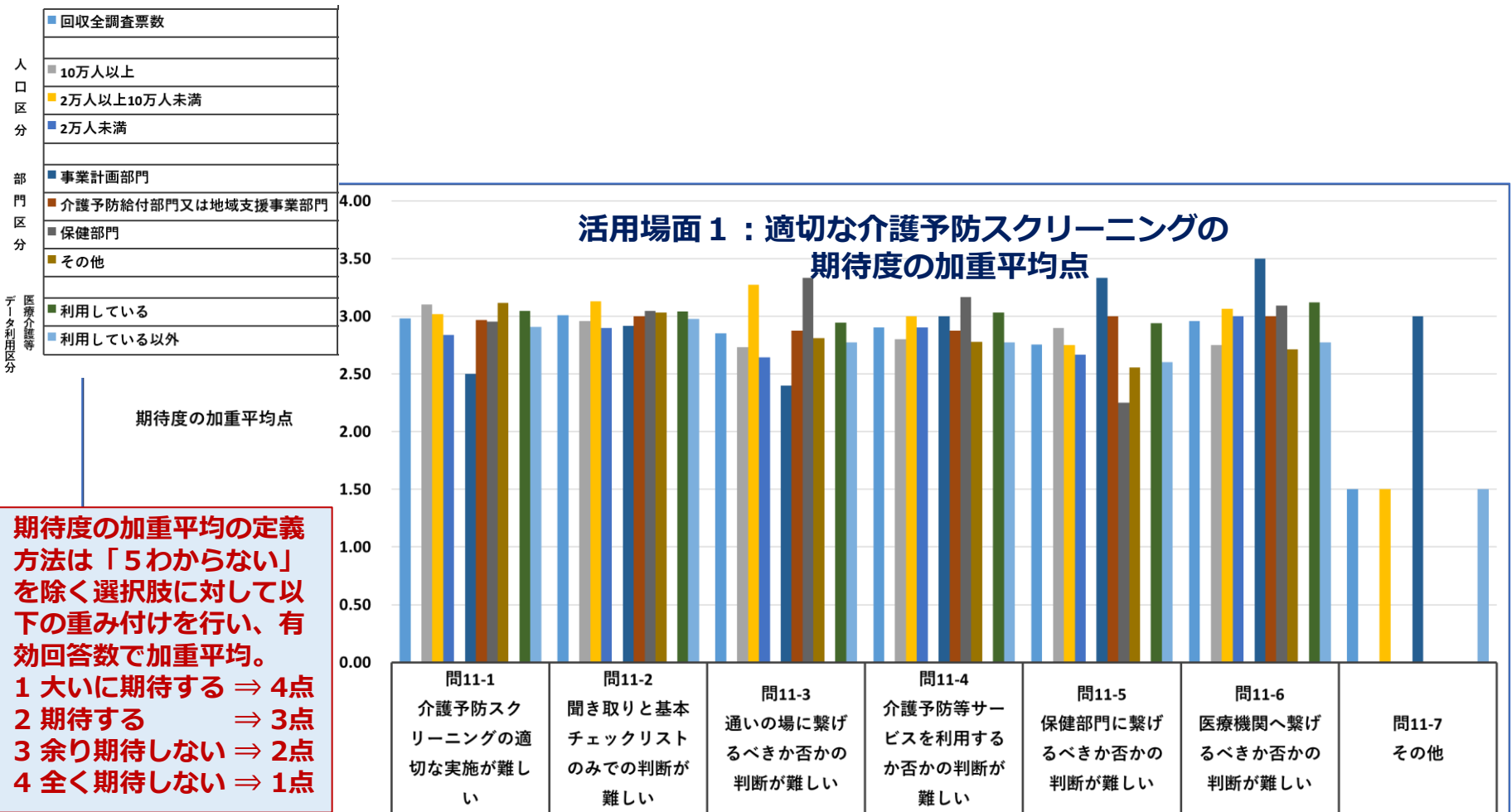
次ページに、調査票－問11～17問題・課題の解決のための「医療介護等データ活用の仕組み」への期待度での、加重平均値の「期待度」の区分別の集計結果のグラフの一例を示す。

加重平均で算出した「期待度」についても、区分ごとにみた、各場面の各問題・課題の解決策としての提案機能への期待度については、次ページ示した活用場面1の結果同様に、「人口区分」「部門区分」「医療介護等データ活用区分」をそれぞれ見ても「大いに期待する（4点）」と「期待する（3点）」のどの場面のどの問題・課題も、80～90%程度を占め、高い評価が得られた。

4. 詳細集計結果の概要（14／16）

（2）主な詳細集計結果（12／14）

3) 問11～17 「医療・介護等データの活用の仕組み」を活用した場面について現状の問題・課題とその問題・課題の解決のための「医療介護等データ活用の仕組み」への期待度



※その他の表やグラフについては、70～81頁の付録「4. 問11～17 7つの活用場面別における問題・課題と各機能への期待度 4.2 期待度」に記載

4. 詳細集計結果の概要（15／16）

（2）主な詳細集計結果（13／14）

4) 問18 厚生労働統計協会が提案する「医療介護等データの活用の仕組み」に対する全体を通じての要望等の確認

問18は、厚生労働統計協会が提案する「医療介護等データの活用の仕組み」に対する全体を通じての要望等を確認する問題を設定した。

この問18では、調査票全体を通じての要望について、1～11の選択肢を設定し、複数選択で回答を求めているため、「該当数」の総数は、「回答全調査票数」とは一致しない。また、「調査票割合」は「該当数」を「回答全調査票数」を分母として算出した割合である。

次ページに、調査票－問18「厚生労働統計協会が提案する「医療介護等データの活用の仕組み」に対する全体を通じての要望等」の集計結果を示す。

全調査票で見た際、選択肢2「技術に精通する人材でなくても、簡単に操作して必要な資料が作れるようにして欲しい」（73.4%）が一番高く、続いて選択肢3「データの二次加工等をせず、出力資料がそのまま使えるようにして欲しい」（60.1%）についての要望が高かった。また、選択肢1、4、6についても4割以上が該当していて高いことが分かった。

次に「人口区分」「部門区分」および「医療介護等データ活用区分」で比較したが、人口規模や事業部門ごとにデータの活用状況や環境が異なるため、回答に大きな差が出ると推測していたが、問5での「回答部門での医療介護等データやそれらに基づく、システム・ツール・サービス等利用での問題・課題」同様に区分ごとでの大きな差は見られなかった。

4. 詳細集計結果の概要（16／16）

（2）主な詳細集計結果（14／14）

4) 問18 厚生労働統計協会が提案する「医療介護等データの活用の仕組み」に対する全体を通じての要望等の確認

No.	問題・課題	回収全調査 票数	人口区分			部門区分				医療介護等データ利用 区分	
			10万人以上	2万人以上 10万人未満	2万人未 満	事業計画 部門	介護予防 給付部門 又は地域 支援事業 部門	保健部門	その他	利用してい る	利用してい る以外
1	エビデンスデータ等に基づいた事業計画のPDCAが回せるようにして欲しい	45.7%	44.6%	50.4%	40.2%	42.5%	42.1%	38.5%	54.4%	44.6%	47.1%
2	技術に精通する人材でなくても、簡単に操作して必要な資料が作れるようにして欲しい	73.4%	68.7%	75.2%	75.6%	72.5%	75.4%	59.0%	83.5%	72.0%	75.2%
3	データの二次加工等をせず、出力資料がそのまま使えるようにして欲しい	60.1%	60.2%	63.7%	54.9%	70.0%	61.4%	51.3%	62.1%	63.7%	55.4%
4	保健・医療・介護の専門職への提示資料としても、活かせるようにして欲しい	48.2%	47.0%	48.7%	48.8%	40.0%	47.4%	42.3%	56.3%	51.6%	43.8%
5	高齢者の傷病状態や服薬状況の履歴等についても、把握できるようにして欲しい	27.3%	32.5%	23.9%	26.8%	12.5%	26.3%	29.5%	32.0%	31.8%	21.5%
6	KDBデータとその他データ(介護予防取組み等)を、連携できるようにして欲しい	46.4%	45.8%	42.5%	52.4%	22.5%	47.4%	51.3%	51.5%	55.4%	34.7%
7	高齢者状態の把握に向けて、長期間の時系列追跡ができるようにして欲しい	36.3%	39.8%	39.8%	28.0%	32.5%	36.8%	29.5%	42.7%	36.9%	35.5%
8	データ等の利用権限管理が徹底され、希望部署は自由に利用できるようにして欲しい	28.1%	32.5%	25.7%	26.8%	20.0%	26.3%	26.9%	33.0%	28.7%	27.3%
9	データ分析やシステム等の利用に係る財政的負担を軽減して欲しい	35.3%	38.6%	29.2%	40.2%	45.0%	31.6%	29.5%	37.9%	31.2%	40.5%
10	介護予防に加えて、介護（自立支援・重度化防止）や医療介護連携へも適用して欲しい	35.6%	36.1%	38.9%	30.5%	35.0%	42.1%	24.4%	40.8%	35.7%	35.5%
11	その他	1.4%	0.0%	2.7%	1.2%	0.0%	0.0%	3.8%	1.0%	2.5%	0.0%

※その他の表やグラフについては、82～86頁の付録「5. 問18 全体を通じての要望等」に記載

5. 全体の考察

5. 全体の考察

今回の市町村等二一ズ調査の詳細集計結果として、

- 問 4 では、市町村等の医療介護等データやそれらに基づくシステム・ツール・サービス等の「人口区分」・「部門区分」別の活用状況の違いを把握することができた。
- 問 5 および問 1 8 では、市町村等の現状の医療介護等データやそれらに基づく、システム・ツール・サービス等の「問題・課題」と「要望等」を確認し、「人口区分」「部門区分」「医療介護等データ活用状況」の各区分で大きな差がないことを把握することができた。
- 問 1 1 ～ 1 7 では、現状の問題・課題について、仮説として設定した場面毎の最初の総論的な設問に対して、高い割合で問題・課題が該当していると回答していることがわかり、仮説設定自体の正当性が検証されたと考えられた。
「人口区分」「部門区分」および「医療介護等データ活用状況」区分ごとに集計しても大きな差がないことが確認できた。
また、その問題・課題の解決のための「医療介護等データ活用の仕組み」への期待度も全体で 8 0 ～ 9 0 % で「大いに期待する」や「期待する」の回答が得られた。
上記同様、期待度でも、「人口区分」「部門区分」および「医療介護等データ活用状況」で大きな差が無い期待度が得られた。

付録目次

1. 調査票の各問と集計表（No）との対応関係表	P 3 8
2. 問 4 データ&システム等の利用頻度等	P 4 0
3. 問 5 データ&システム等の利用に係る問題・課題	P 5 2
4. 問 1 1～1 7 7つの活用場面別における問題・課題と各機能への期待度	
4. 1 問 1 1～1 7 7つの活用場面別における問題・課題	P 5 7
4. 2 問 1 1～1 7 7つの活用場面別における期待度	P 7 0
5. 問 1 8 全体を通じての要望等	P 8 2

付録

1. 調査票の各問と集計表（No）との対応関係表

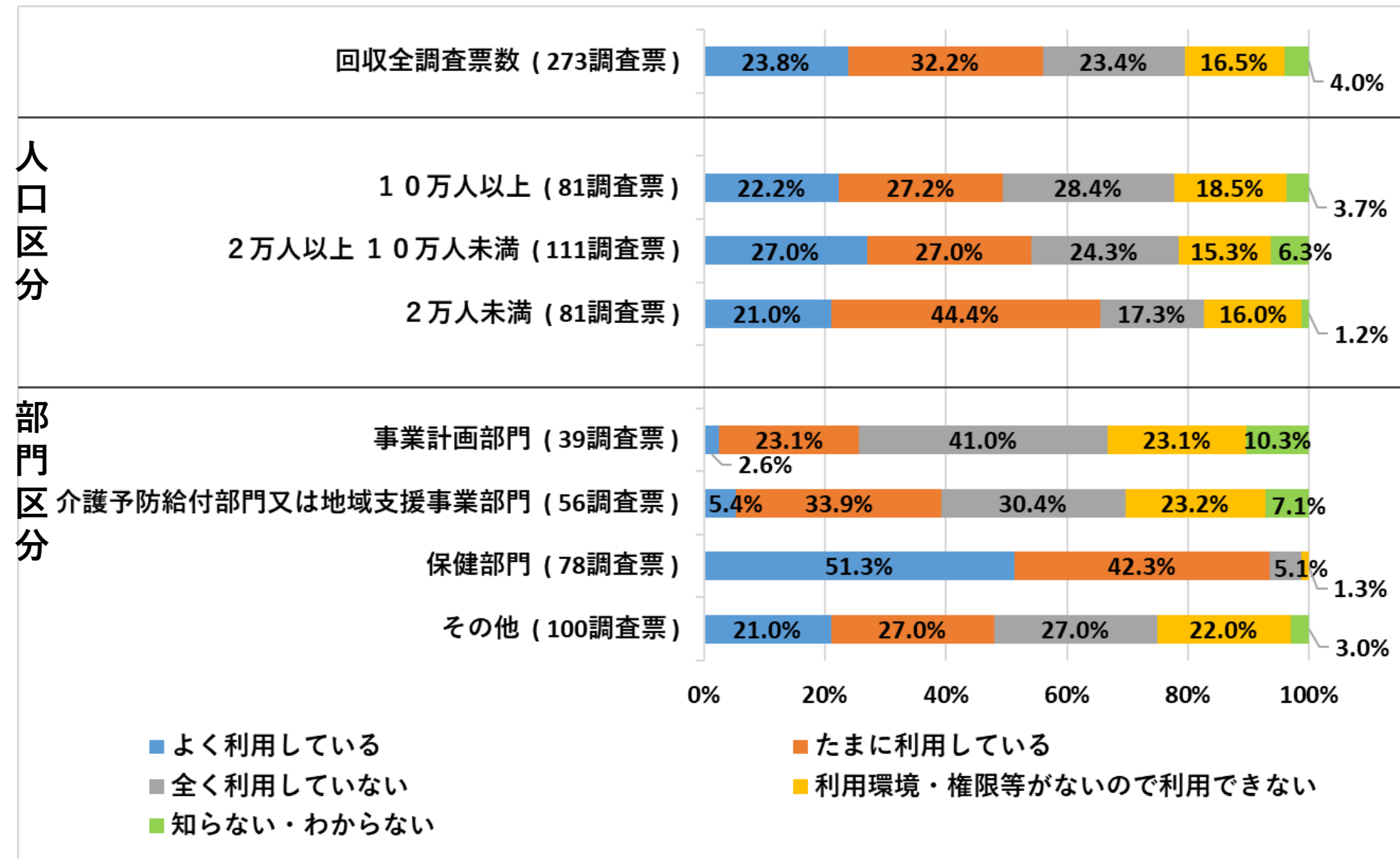
付録 1. 調査票の各問いと集計表（No）との対応関係表

問番号	市町村等ニーズ調査票の 問名		集計表 No （2～5章）																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
集計区分	① 人口区分		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	② 部門区分		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	③ 医療介護等データ利用区分			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
問 4	データ＆システム等の利用頻度等		●																
問 5	データ＆システム等の利用に係る問題・課題			●															
問 1 1	7つの活用 場面別 における 問題・課題	適切な介護予防スクリーニング			●														
問 1 2		効率と効果の高いアウトリーチ				●													
問 1 3		効率と質の高い地域ケア会議等の開催					●												
問 1 4		他職種とのスムーズな連携による効率と質の高い予 防マネジメント						●											
問 1 5		高齢者の介護予防の取組に係る行動変容支援							●										
問 1 6		医療介護等データを統合した施策立案等に役立つ地 域診断								●									
問 1 7		量的かつ公正な介護予防施策の効果計測費用（対計 測含む）									●								
問 1 1	7つの活用 場面別 における 期待度	適切な介護予防スクリーニング										●							
問 1 2		効率と効果の高いアウトリーチ											●						
問 1 3		効率と質の高い地域ケア会議等の開催												●					
問 1 4		他職種とのスムーズな連携による効率と質の高い予 防マネジメント													●				
問 1 5		高齢者の介護予防の取組に係る行動変容支援														●			
問 1 6		医療介護等データを統合した施策立案等に役立つ地 域診断															●		
問 1 7		量的かつ公正な介護予防施策の効果計測費用（対計 測含む）																●	
問 1 8	全体を通じての要望等																		●

付録

2. 問4 データ&システム等の利用頻度等

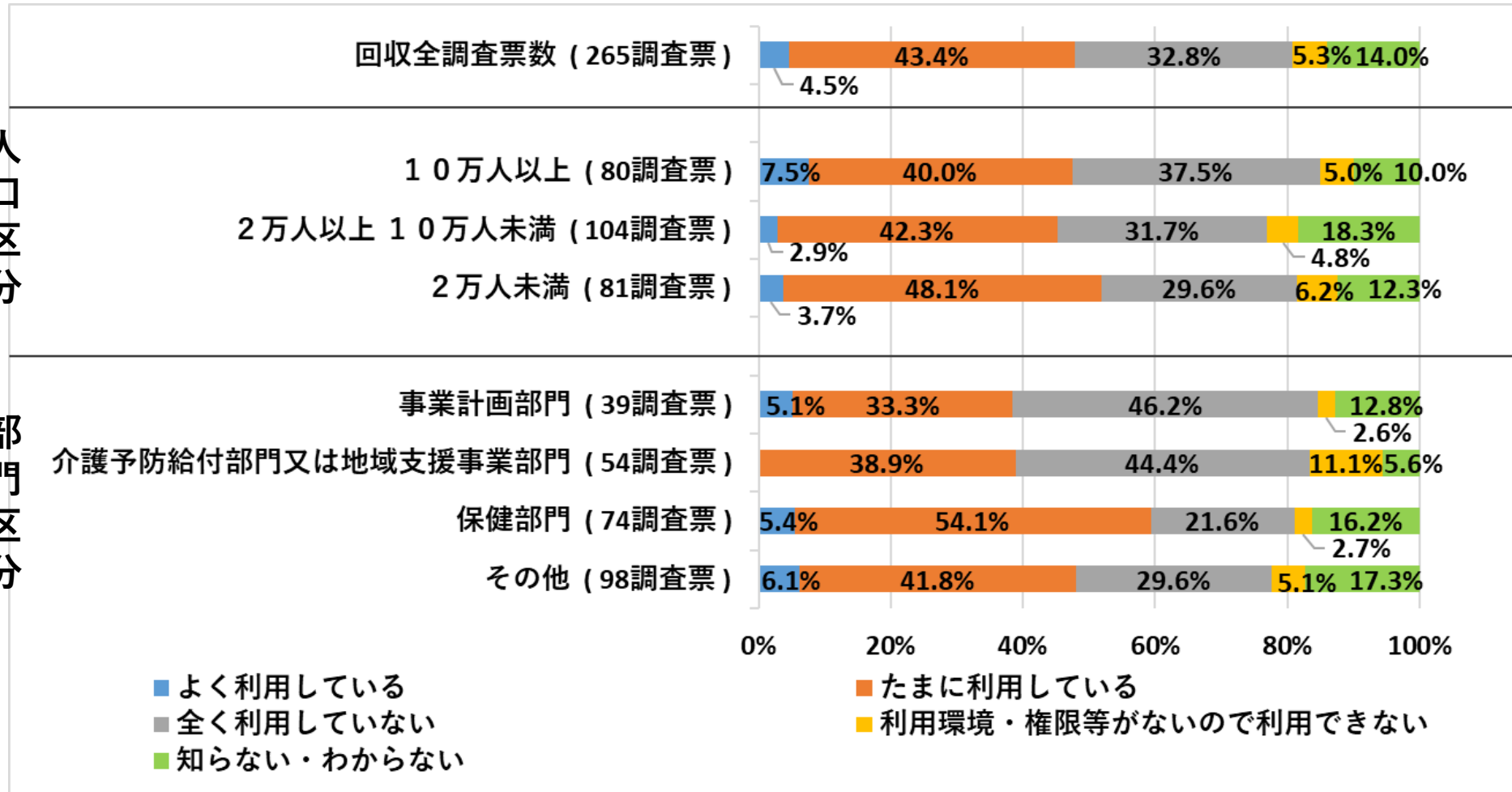
問4-1 「KDBシステムの各種帳票出力」



問4-2 「国等が提供する医療介護等に係る公開統計データ」

人口区分

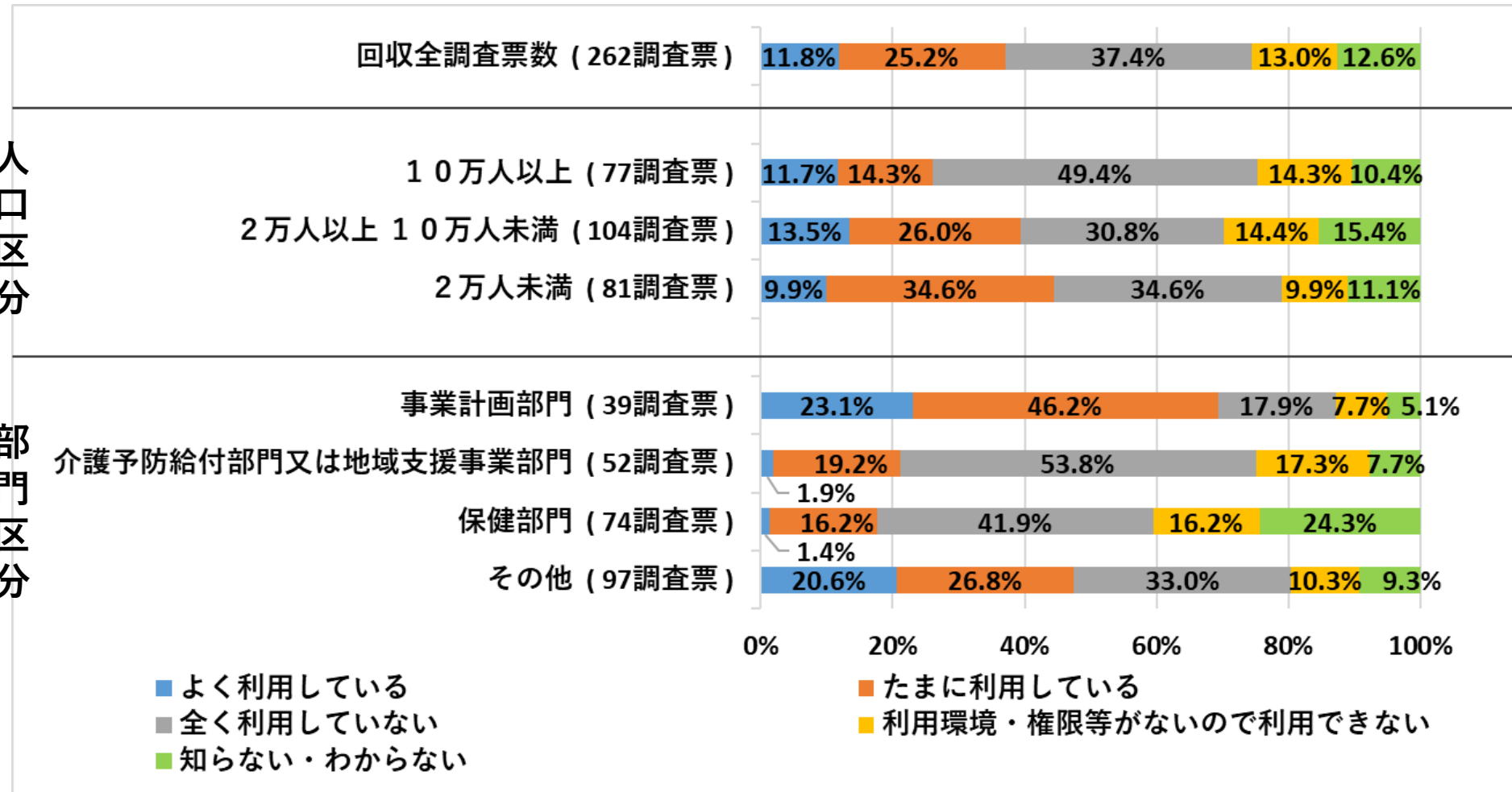
部門区分



問4-3 「国保連経由で入手した介護給付費適正化システムの出力データ」

人口区分

部門区分

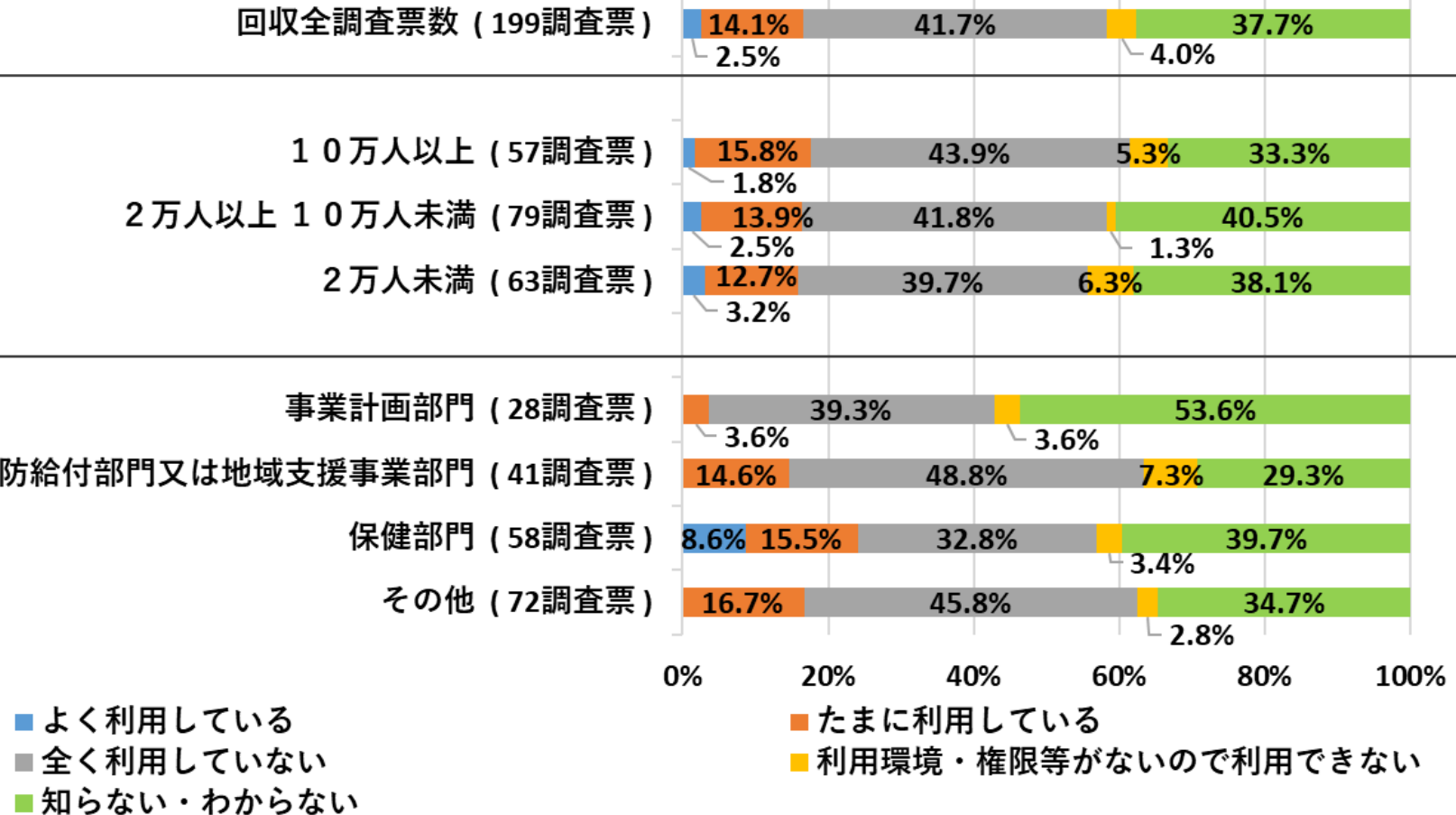


問4-4 「その他の医療介護等データ」

人口区分

部門区分

回収全調査票数（199調査票）



問4-5 「KDBシステムの一体的実施・KDB活用支援ツール」

人口区分

部門区分

回収全調査票数（265調査票）

12.1% 31.7% 32.1% 15.1% 9.1%

10万人以上（79調査票）

10.1% 29.1% 35.4% 19.0% 6.3%

2万人以上 10万人未満（106調査票）

18.9% 24.5% 30.2% 15.1% 11.3%

2万人未満（80調査票）

5.0% 43.8% 31.3% 11.3% 8.8%

事業計画部門（37調査票）

18.9% 45.9% 18.9% 13.5%

介護予防給付部門又は地域支援事業部門（56調査票）

25.0% 41.1% 17.9% 14.3%

保健部門（78調査票）

25.6% 55.1% 14.1% 1.3%

その他（94調査票）

10.6% 21.3% 36.2% 21.3% 10.6%

0% 20% 40% 60% 80% 100%

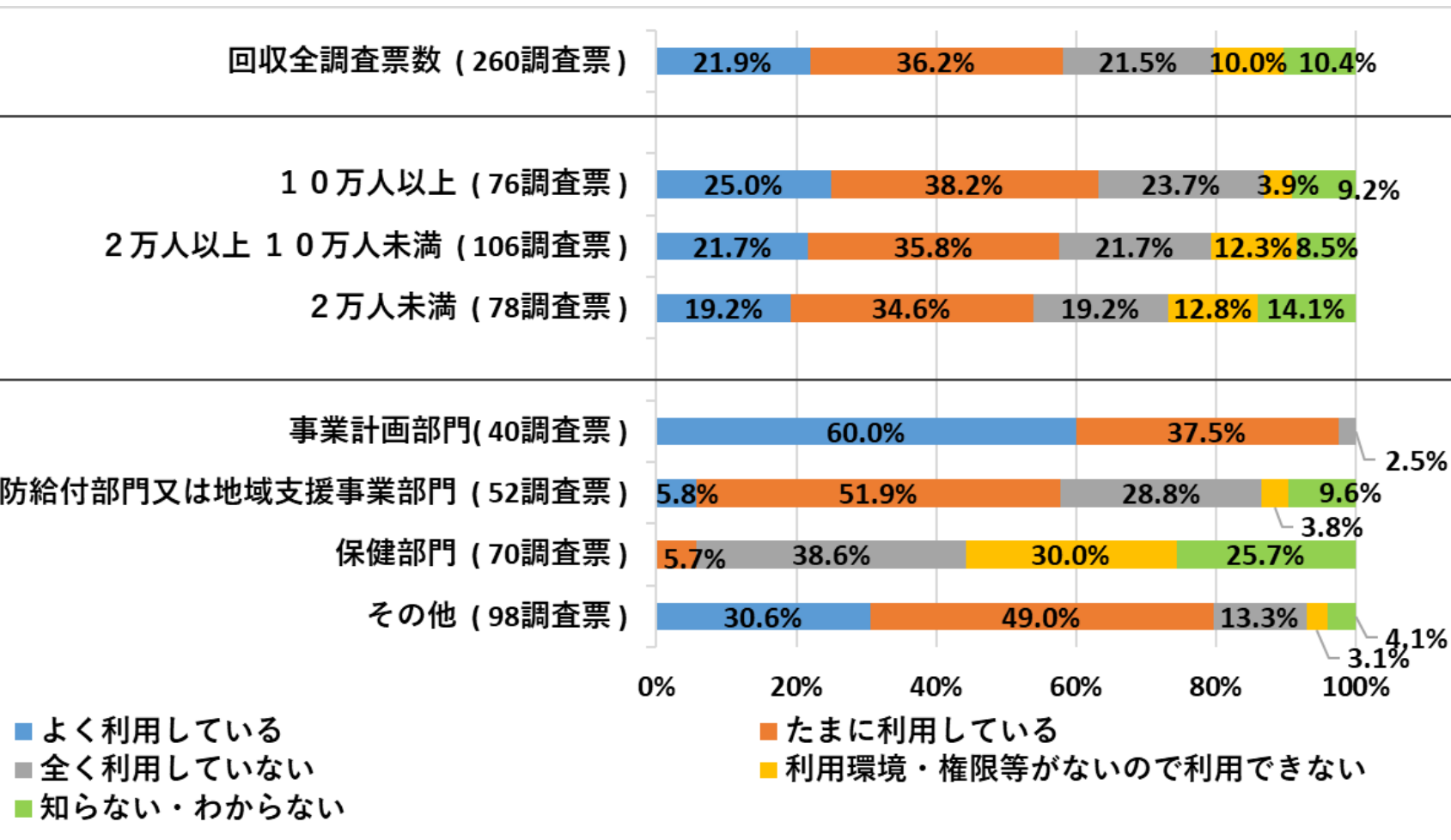
- よく利用している
- 全く利用していない
- 知らない・わからない

- たまに利用している
- 利用環境・権限等がないので利用できない

問4-6 「厚労省の地域包括ケア「見える化」システム」

人口区分

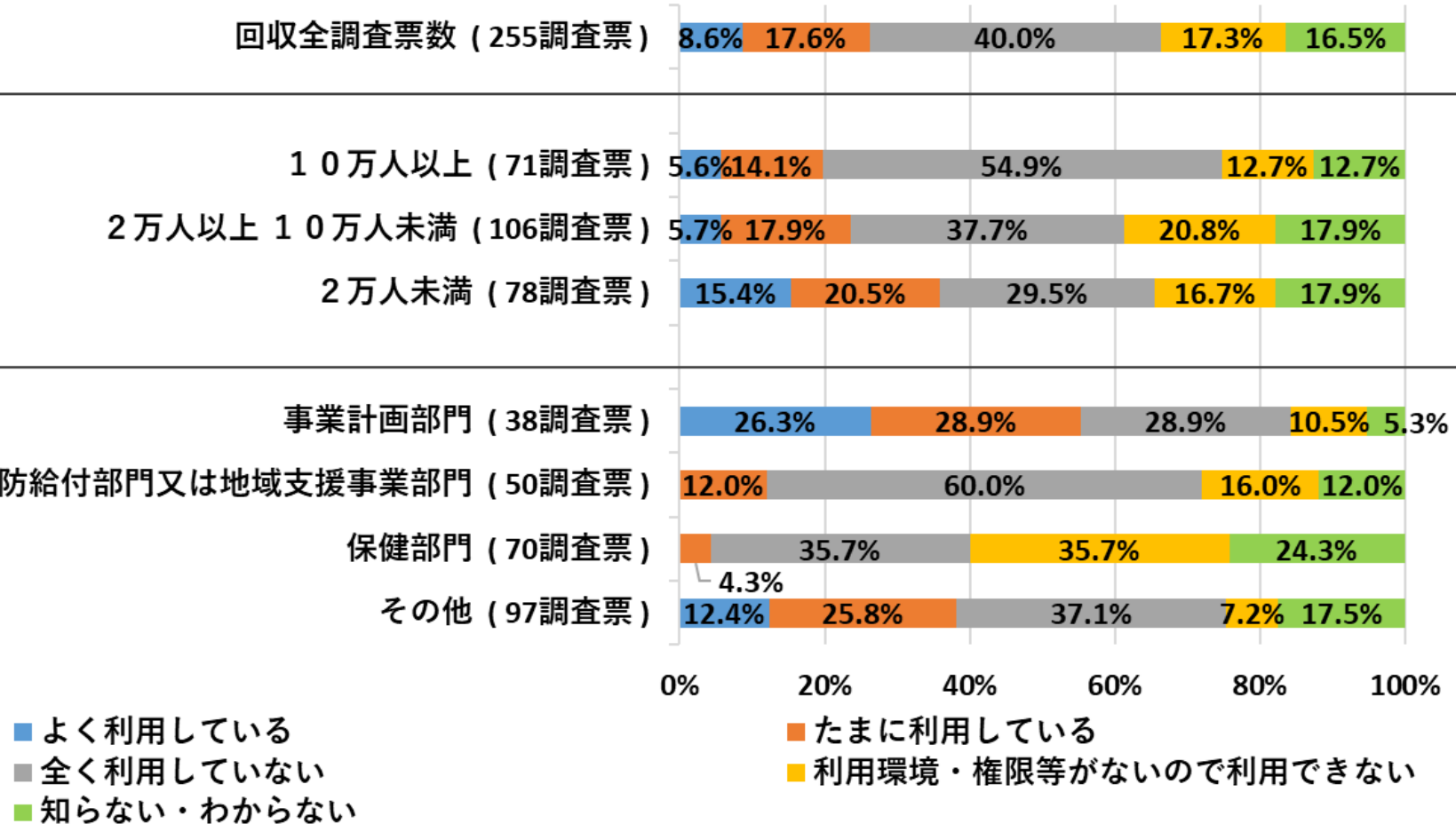
部門区分



問4-7 「厚労省の要介護認定関連システム・ツール」

人口区分

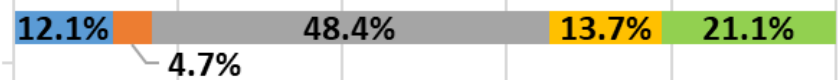
部門区分



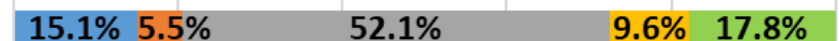
問4-8 「民間の介護保険関連システム・サービス」

人口
区分

回収全調査票数 (256調査票)



10万人以上 (73調査票)



2万人以上 10万人未満 (105調査票)

2万人未満 (78調査票)

事業計画部門 (39調査票)

介護予防給付部門又は地域支援事業部門 (49調査票)

保健部門 (71調査票)

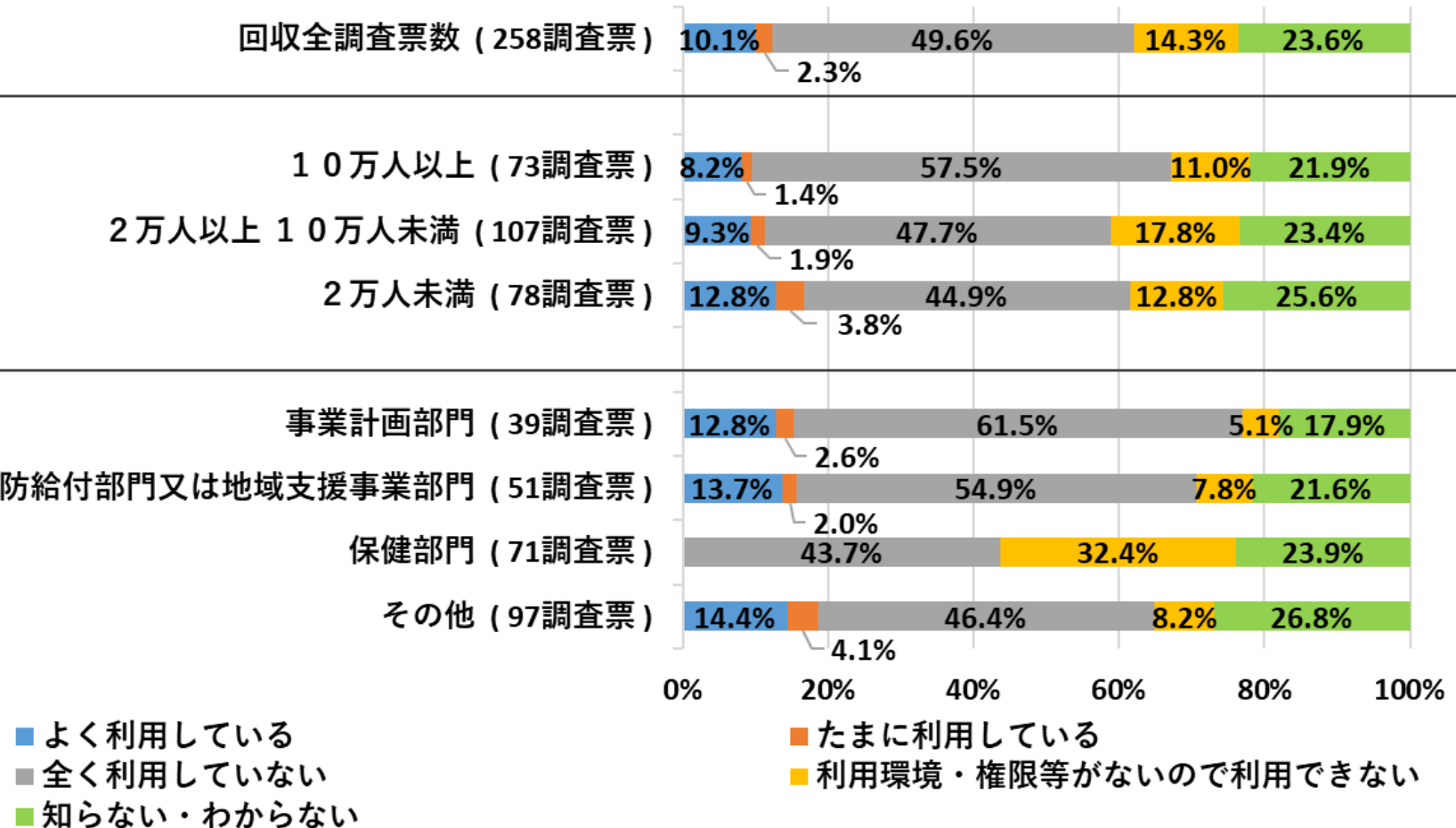
その他 (97調査票)

0% 20% 40% 60% 80% 100%

- よく利用している
- 全く利用していない
- 知らない・わからない

- たまに利用している
- 利用環境・権限等がないので利用できない

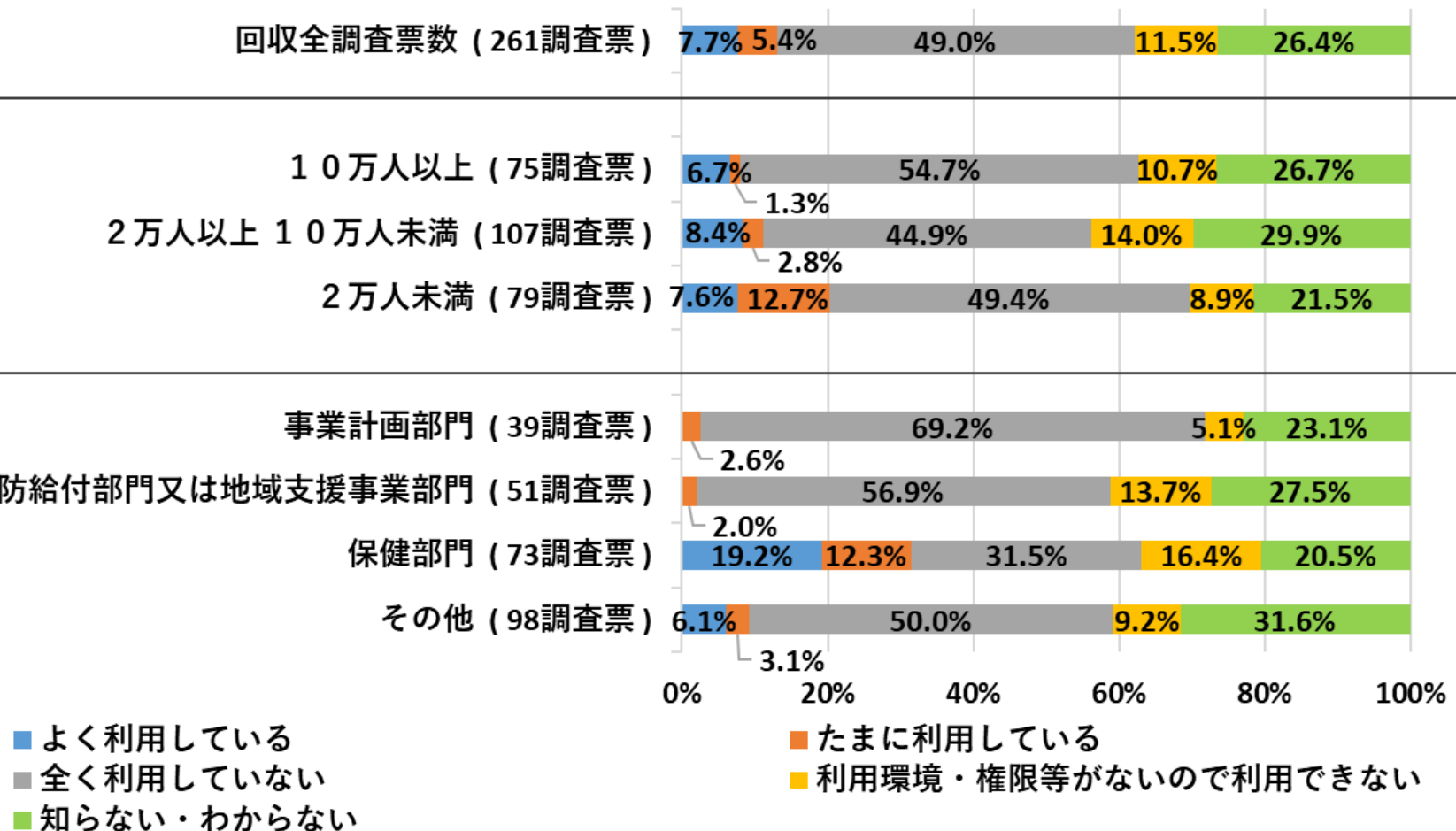
問4-9 「民間の介護予防関連システム・サービス」

人口
区分部
門
区
分

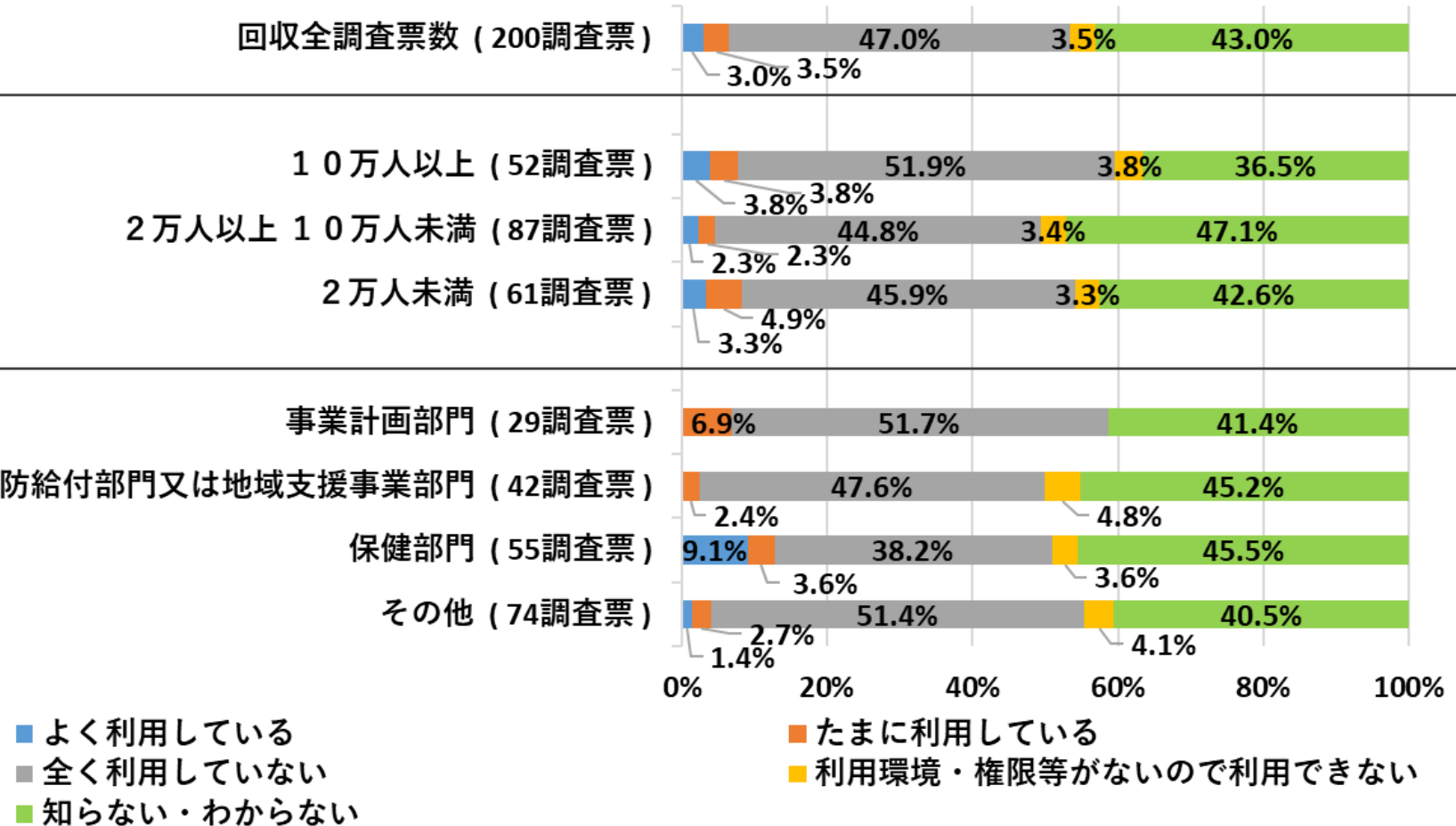
問4-10 「民間の健診・データヘルス関係システム・サービス」

人口区分

部門区分



問4-1-1 「その他のシステム・ツール・サービス等」

人口
区分部門
区分

付録

3. 問5 データ&システム等の利用に係る問題・課題

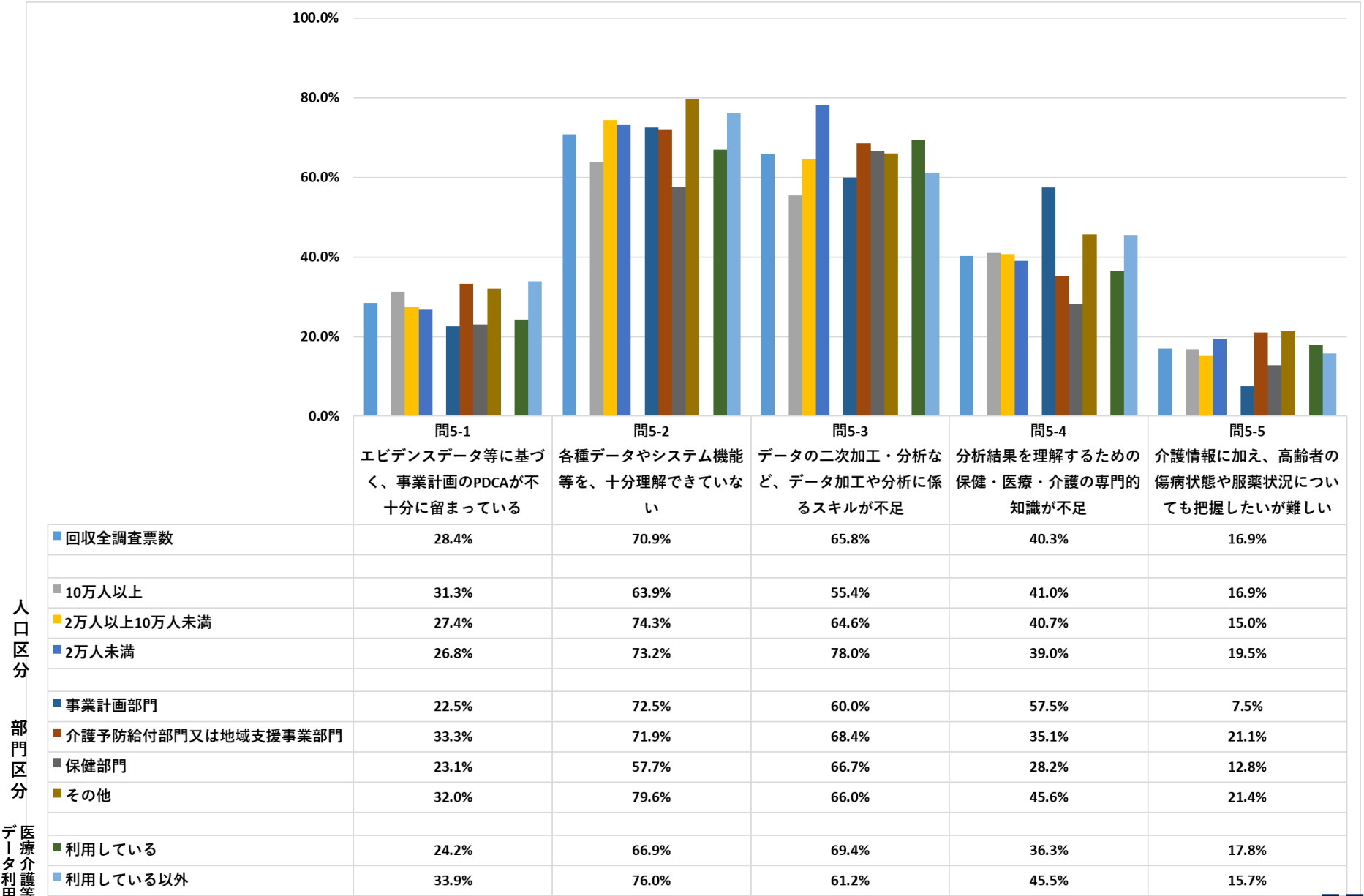
問5 調査票数

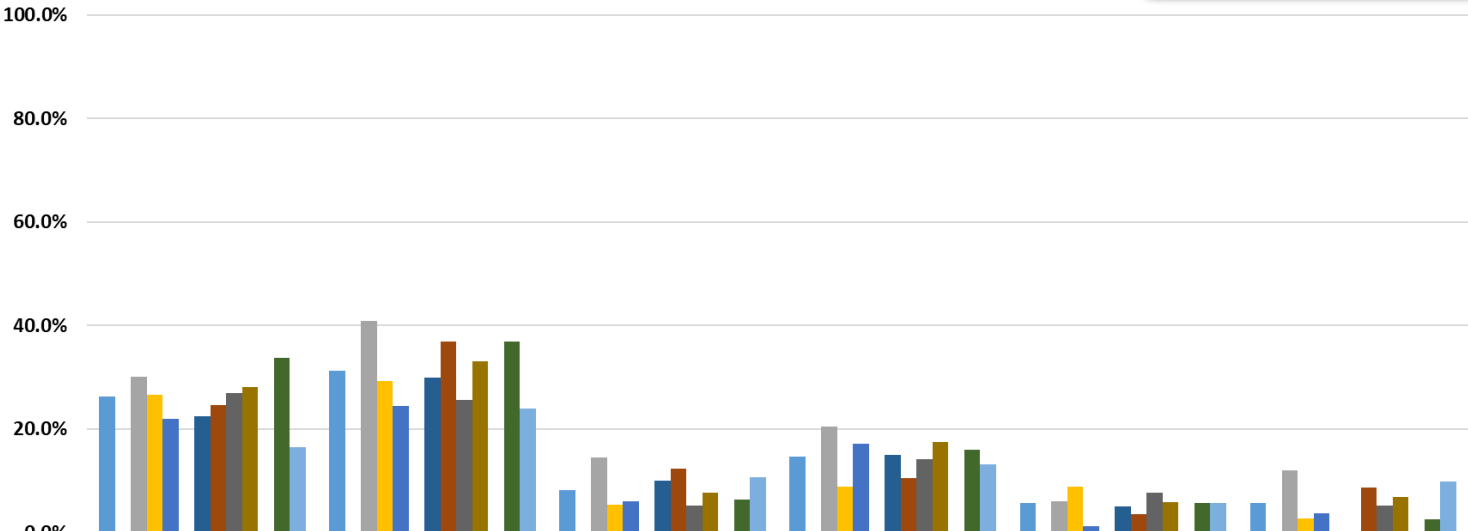
No.	問題・課題	回収全調査 票数	人口区分			部門区分				医療介護等データ利用 区分	
			10万人以上	2万人以上 10万人未満	2万人未 満	事業計画 部門	介護予防 給付部門 又は地域 支援事業 部門	保健部門	その他	利用してい る	利用してい る以外
1	調査票数	278	83	113	82	40	57	78	103	157	121

No.	問題・課題	回収全調査 票数	人口区分			部門区分				医療介護等データ利用 区分	
			10万人以上	2万人以上 10万人未満	2万人未 満	事業計画 部門	介護予防 給付部門 又は地域 支援事業 部門	保健部門	その他	利用してい る	利用してい る以外
1	エビデンスデータ等に基づく、事業計画のPDCAが不十分に留まっている	79	26	31	22	9	19	18	33	38	41
2	各種データやシステム機能等を、十分理解できていない	197	53	84	60	29	41	45	82	105	92
3	データの二次加工・分析など、データ加工や分析に係るスキルが不足	183	46	73	64	24	39	52	68	109	74
4	分析結果を理解するための保健・医療・介護の専門的知識が不足	112	34	46	32	23	20	22	47	57	55
5	介護情報に加え、高齢者の傷病状態や服薬状況についても把握したいが難しい	47	14	17	16	3	12	10	22	28	19
6	KDBデータとその他KDBにないデータ（介護予防施策実績等）を結びつけたいが難しい	73	25	30	18	9	14	21	29	53	20
7	高齢者状態の把握には長期間の時系列追跡が必要だと考えるが実現は難しい	87	34	33	20	12	21	20	34	58	29
8	高齢者個人の状態を扱う際に、個人情報保護に配慮した運用が難しい	23	12	6	5	4	7	4	8	10	13
9	医療・介護レセプト等のビッグデータ分析などを行うための財政的負担が大きい	41	17	10	14	6	6	11	18	25	16
10	その他（具体的に）	16	5	10	1	2	2	6	6	9	7
11	特になし	16	10	3	3	0	5	4	7	4	12

問5 割合

No.	問題・課題	回収全調査 票数	人口区分			部門区分				医療介護等データ利用 区分	
			10万人以上	2万人以上 10万人未満	2万人未 満	事業計画 部門	介護予防 給付部門 又は地域 支援事業 部門	保健部門	その他	利用してい る	利用してい る以外
1	エビデンスデータ等に基づく、事業計画のPDCAが不十分に留まっている	28.4%	31.3%	27.4%	26.8%	22.5%	33.3%	23.1%	32.0%	24.2%	33.9%
2	各種データやシステム機能等を、十分理解できていない	70.9%	63.9%	74.3%	73.2%	72.5%	71.9%	57.7%	79.6%	66.9%	76.0%
3	データの二次加工・分析など、データ加工や分析に係るスキルが不足	65.8%	55.4%	64.6%	78.0%	60.0%	68.4%	66.7%	66.0%	69.4%	61.2%
4	分析結果を理解するための保健・医療・介護の専門的知識が不足	40.3%	41.0%	40.7%	39.0%	57.5%	35.1%	28.2%	45.6%	36.3%	45.5%
5	介護情報に加え、高齢者の傷病状態や服薬状況についても把握したいが難しい	16.9%	16.9%	15.0%	19.5%	7.5%	21.1%	12.8%	21.4%	17.8%	15.7%
6	KDBデータとその他KDBにないデータ（介護予防施策実績等）を結びつけたいが難しい	26.3%	30.1%	26.5%	22.0%	22.5%	24.6%	26.9%	28.2%	33.8%	16.5%
7	高齢者状態の把握には長期間の時系列追跡が必要だと考えるが実現は難しい	31.3%	41.0%	29.2%	24.4%	30.0%	36.8%	25.6%	33.0%	36.9%	24.0%
8	高齢者個人の状態を扱う際に、個人情報保護に配慮した運用が難しい	8.3%	14.5%	5.3%	6.1%	10.0%	12.3%	5.1%	7.8%	6.4%	10.7%
9	医療・介護レセプト等のビッグデータ分析などを行うための財政的負担が大きい	14.7%	20.5%	8.8%	17.1%	15.0%	10.5%	14.1%	17.5%	15.9%	13.2%
10	その他（具体的に）	5.8%	6.0%	8.8%	1.2%	5.0%	3.5%	7.7%	5.8%	5.7%	5.8%
11	特になし	5.8%	12.0%	2.7%	3.7%	0.0%	8.8%	5.1%	6.8%	2.5%	9.9%





人口区分

部門区分

データ利用区分

4. 問 1 1 ～ 1 7 7つの活用場面別における 問題・課題と各機能への期待度

4. 1 7つの活用場面別における問題・課題

4. 2 7つの活用場面別における期待度

問11－17 各設問の有効回答数（問題・課題及び期待度の両方回答あり）（1／4）

設問	問題・課題の回答数									
	回収全調査票数	人口区分			部門区分				医療介護等データ利用区分	
		10万人以上	2万人以上、10万人未満	2万人未満	事業計画部門	介護予防給付部門又は地域支援事業部門	保健部門	その他	利用している	利用していない以外
問11-1 介護予防スクリーニングの適切な実施が難しい	116	29	50	37	12	32	21	51	63	53
問11-2 聞き取りと基本チェックリストのみでの判断が難しい	92	24	39	29	12	26	21	33	49	43
問11-3 通いの場に繋げるべきか否かの判断が難しい	40	15	11	14	5	8	6	21	18	22
問11-4 介護予防等サービスを利用するか否かの判断が難しい	63	20	22	21	8	16	12	27	32	31
問11-5 保健部門に繋げるべきか否かの判断が難しい	37	10	12	15	6	9	4	18	17	20
問11-6 医療機関へ繋げるべきか否かの判断が難しい	47	12	16	19	6	9	11	21	25	22
問11-7 その他	2	0	2	0	1	0	0	1	0	2
問12-1 介護予防対象者への効率と効果の高いアウトリーチが難しい	122	27	48	47	11	30	27	54	74	48
問12-2 通いの場への効果的な対象高齢者の抽出が難しい	69	22	27	20	5	19	10	35	37	32
問12-3 高齢者の要介護リスクが高い低い判断が難しい	73	16	35	22	10	17	10	36	40	33
問12-4 対象高齢者数が多過ぎ優先順位付けが難しい	65	21	27	17	4	21	10	30	37	28
問12-5 現状の専門職体制を踏まえた効果的なアウトリーチが難しい	101	25	34	42	8	25	28	40	59	42
問12-6 市町村等が取り組んだアウトリーチ効果の見極めが難しい	94	26	38	30	10	24	25	35	56	38
問12-7 その他	2	0	2	0	0	0	1	1	1	1

問11－17 各設問の有効回答数（問題・課題及び期待度の両方回答あり）（2／4）

設問	問題・課題の回答数									
	回収全調査票数	人口区分			部門区分				医療介護等データ利用区分	
		10万人以上	2万人以上、10万人未満	2万人未満	事業計画部門	介護予防給付部門又は地域支援事業部門	保健部門	その他	利用している	利用していない以外
問13-1 地域ケア会議等の効率と質の向上が難しい	99	29	38	32	8	32	15	44	53	46
問13-2 協議すべきケースの系統的かつ客観的な選定が難しい	77	18	29	30	8	28	9	32	33	44
問13-3 傷病や服薬の履歴情報等のスムーズな収集が難しい	45	14	17	14	4	11	10	20	26	19
問13-4 会議に役立つ資料の効率的な作成が難しい	74	25	29	20	9	23	8	34	43	31
問13-5 本質的な課題や解決策の協議への集中することが難しい	72	21	30	21	6	20	10	36	36	36
問13-6 今後に役立つ事例検討結果の蓄積していくことが難しい	72	23	30	19	5	25	7	35	34	38
問13-7 その他	3	0	3	0	0	0	2	1	2	1
問14-1 他職種とのスムーズな連携が難しい	70	27	26	17	9	16	16	29	42	28
問14-2 高齢者が受診する多数の医療機関からの情報入手が難しい	103	25	43	35	7	26	24	46	59	44
問14-3 担当医師等からのタイムリーな医療情報入手が難しい	102	26	40	36	8	24	21	49	61	41
問14-4 医療情報の介護予防施策への活用が難しい	101	28	45	28	12	23	20	46	55	46
問14-5 関係医療機関等に対して客観的情報に基づいた説明が難しい	54	17	21	16	4	16	7	27	32	22
問14-6 スムーズな連携による質の高い予防プランの作成が難しい	62	24	18	20	5	22	6	29	33	29
問14-7 その他	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1

問11－17 各設問の有効回答数（問題・課題及び期待度の両方回答あり）（3／4）

設問	問題・課題の回答数									
	回収全調査票数	人口区分			部門区分				医療介護等データ利用区分	
		10万人以上	2万人以上、10万人未満	2万人未満	事業計画部門	介護予防給付部門又は地域支援事業部門	保健部門	その他	利用している	利用していない以外
問15-1 高齢者の介護予防の取組に係る行動変容支援が難しい	147	39	60	48	16	36	32	63	86	61
問15-2 高齢者の要介護リスクに係る情報収集や整理が難しい	92	28	39	25	10	20	16	46	52	40
問15-3 高齢者の行動変容につながる説明資料の作成が難しい	113	31	48	34	7	25	26	55	71	42
問15-4 家族に対して要介護リスクに係る情報の提供が難しい	76	24	26	26	7	15	9	45	40	36
問15-5 高齢者が自分事として納得頂く説明シナリオ作成が難しい	109	35	45	29	8	31	19	51	61	48
問15-6 行動変容につなげる適切な介護予防プランの作成が難しい	74	25	31	18	3	30	9	32	37	37
問15-7 その他	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1
問16-1 医療介護等データ活用による地域毎の実態把握が難しい	147	40	59	48	21	34	33	59	88	59
問16-2 地域毎にみた介護につながる傷病割合の把握が難しい	108	31	42	35	13	28	23	44	64	44
問16-3 介護予防サービスや専門職体制の地域毎の最適配置が難しい	67	21	28	18	10	16	5	36	31	36
問16-4 脳卒中や大腿骨骨折リスク踏まえた保健側との連携が難しい	50	14	23	13	6	10	4	30	25	25
問16-5 フレイルリスクを踏まえた地域毎の通いの場整備が難しい	85	25	40	20	9	25	10	41	45	40
問16-6 地域毎の認知症初期集中支援体制の最適整備が難しい	57	21	20	16	4	19	1	33	27	30
問16-7 その他	2	1	1	0	0	0	1	1	1	1

問11－17 各設問の有効回答数（問題・課題及び期待度の両方回答あり）（4／4）

設問	問題・課題の回答数									
	回収全調査票数	人口区分			部門区分				医療介護等データ利用区分	
		10万人以上	2万人以上、10万人未満	2万人未満	事業計画部門	介護予防給付部門又は地域支援事業部門	保健部門	その他	利用している	利用していない以外
問17-1 介護予防施策の定量的かつ公正な評価が難しい	143	39	60	44	18	41	24	60	78	65
問17-2 要介護度等の介護指標では傷病の影響等含む評価が難しい	76	27	26	23	9	18	12	37	41	35
問17-3 通いの場の効果が高いと実感するが客観的に示すのが難しい	126	35	55	36	11	33	24	58	68	58
問17-4 実際に実践する専門職チーム毎の公正な評価が難しい	49	18	17	14	3	9	8	29	29	20
問17-5 通いの場への高齢者参加促進のための情報提供が難しい	93	26	45	22	10	29	14	40	51	42
問17-6 通いの場増設等に向け関係者が納得する情報の提示が難しい	77	24	36	17	5	27	9	36	42	35
問17-7 その他	2	0	1	1	0	0	1	1	1	1

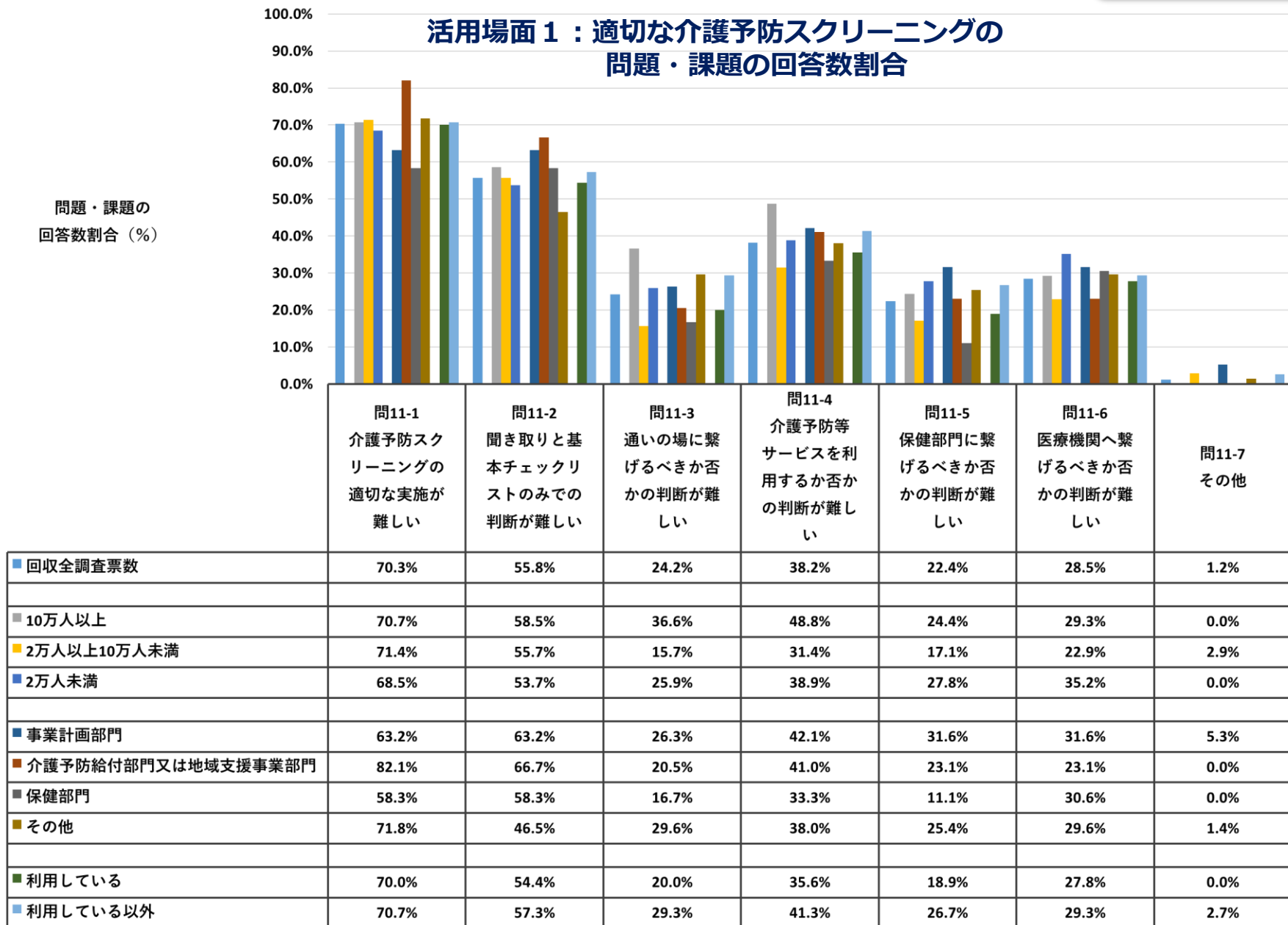
問 1 1 － 1 7 各活用場面の設問の内 1 つでも問題・課題及び「医療・介護等データ活用の仕組み」への期待度に両方回答があった有効調査票数

問	当該活用場面に回答があった有効調査票数									
	回収全調査票数	人口区分			部門区分				医療介護等データ利用区分	
		10万人以上	2万人以上 10万人未満	2万人未満	事業計画部門	介護予防 給付部門 又は地域 支援事業 部門	保健部門	その他	利用している	利用している 以外
問 1 1（活用場面 1）	165	41	70	54	19	39	36	71	90	75
問 1 2（活用場面 2）	183	44	75	64	19	47	45	72	109	74
問 1 3（活用場面 3）	160	37	67	56	15	44	29	72	87	73
問 1 4（活用場面 4）	175	40	73	62	16	44	42	73	103	72
問 1 5（活用場面 5）	185	44	77	64	17	49	42	77	107	78
問 1 6（活用場面 6）	187	49	78	60	22	46	42	77	110	77
問 1 7（活用場面 7）	183	46	76	61	20	47	39	77	104	79

問11 活用場面1 問題・課題の回答数割合

集計表 No.3

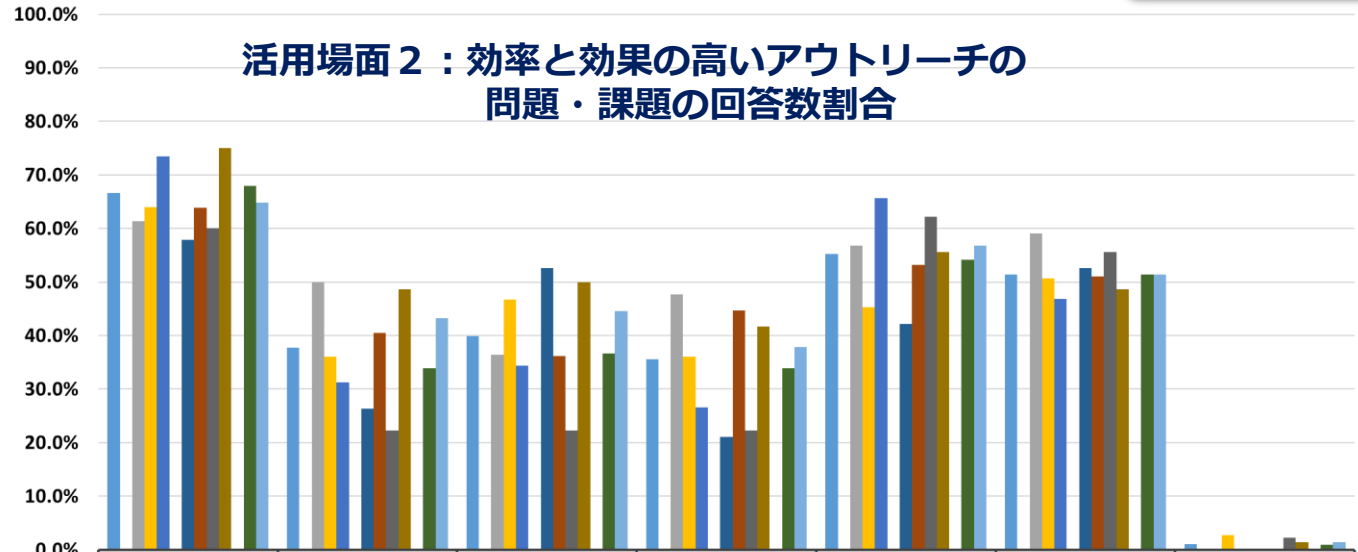
活用場面1：適切な介護予防スクリーニングの問題・課題の回答数割合



問12 活用場面2 問題・課題の回答数割合

集計表 No.4

活用場面2：効率と効果の高いアウトリーチの問題・課題の回答数割合

問題・課題の
回答数割合（％）

人口区分

部門区分

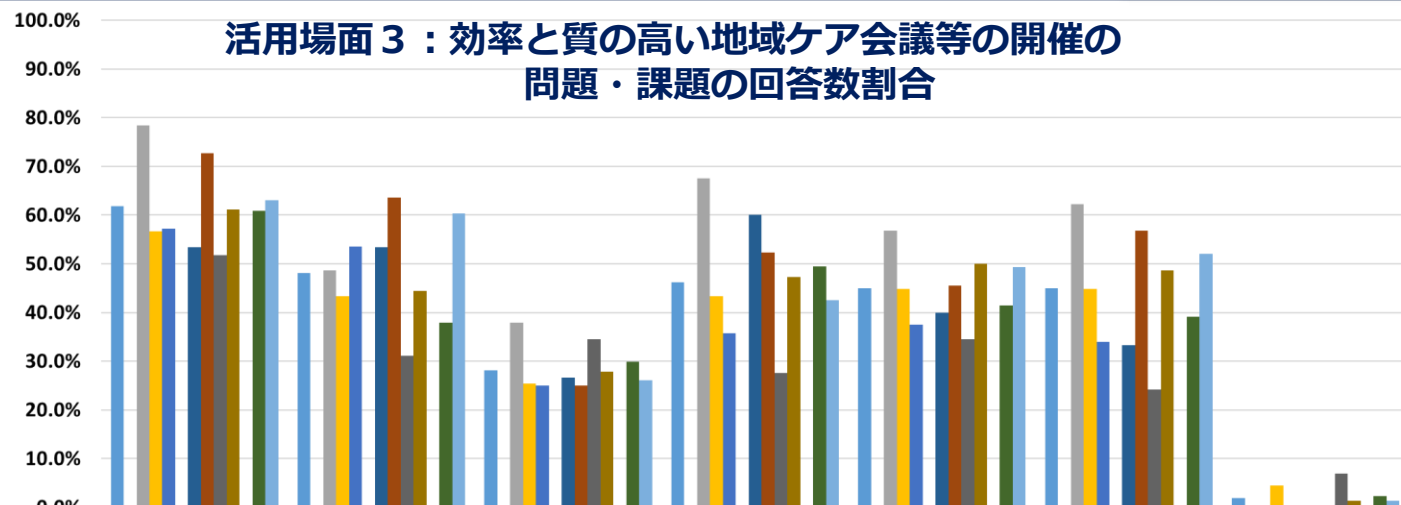
医療介護等
データ利用区分

問13 活用場面3 問題・課題の回答数割合

集計表 No.5

活用場面3：効率と質の高い地域ケア会議等の開催の
問題・課題の回答数割合

問題・課題の
回答数割合（％）

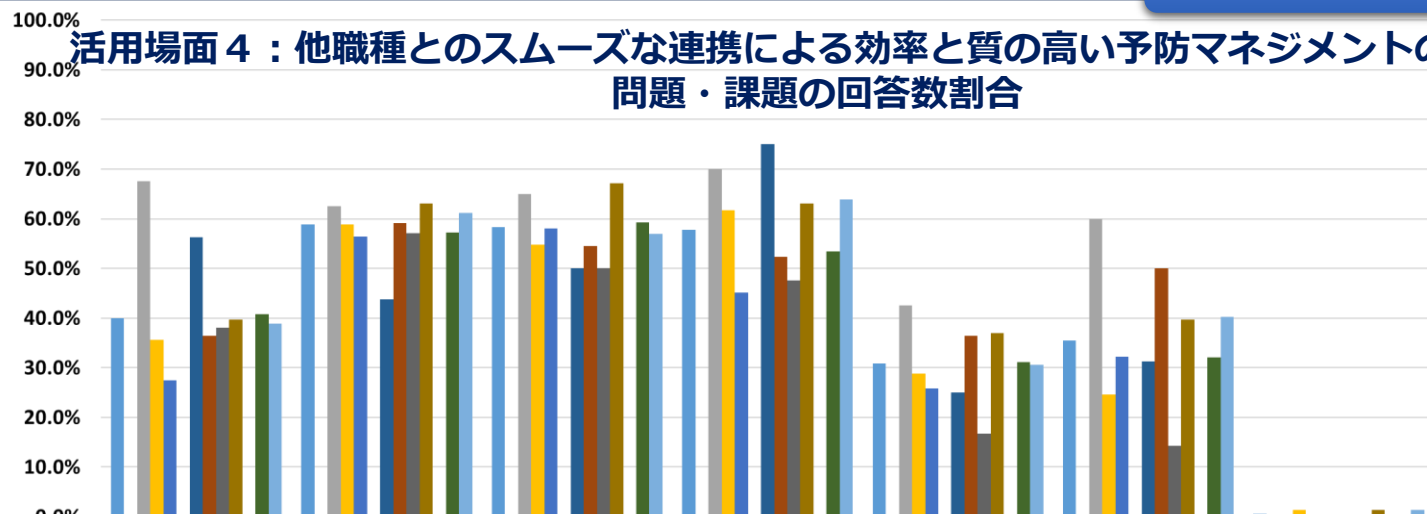


	問13-1 地域ケア会議 等の効率と質 の向上が難し い	問13-2 協議すべき ケースの系統 的かつ客観的 な選定が難し い	問13-3 傷病や服薬の 履歴情報等の スムーズな収 集が難しい	問13-4 会議に役立つ 資料の効率的 な作成が難し い	問13-5 本質的な課題 や解決策の協 議への集中す ることが難し い	問13-6 今後に役立つ 事例検討結果 の蓄積してい くことが難し い	問13-7 その他
■ 回収全調査票数	61.9%	48.1%	28.1%	46.3%	45.0%	45.0%	1.9%
■ 10万人以上	78.4%	48.6%	37.8%	67.6%	56.8%	62.2%	0.0%
■ 2万人以上10万人未満	56.7%	43.3%	25.4%	43.3%	44.8%	44.8%	4.5%
■ 2万人未満	57.1%	53.6%	25.0%	35.7%	37.5%	33.9%	0.0%
■ 事業計画部門	53.3%	53.3%	26.7%	60.0%	40.0%	33.3%	0.0%
■ 介護予防給付部門又は地域支援事業部門	72.7%	63.6%	25.0%	52.3%	45.5%	56.8%	0.0%
■ 保健部門	51.7%	31.0%	34.5%	27.6%	34.5%	24.1%	6.9%
■ その他	61.1%	44.4%	27.8%	47.2%	50.0%	48.6%	1.4%
■ 利用している	60.9%	37.9%	29.9%	49.4%	41.4%	39.1%	2.3%
■ 利用している以外	63.0%	60.3%	26.0%	42.5%	49.3%	52.1%	1.4%

問14 活用場面4 問題・課題の回答数割合

集計表 No.6

活用場面4：他職種とのスムーズな連携による効率と質の高い予防マネジメントの問題・課題の回答数割合

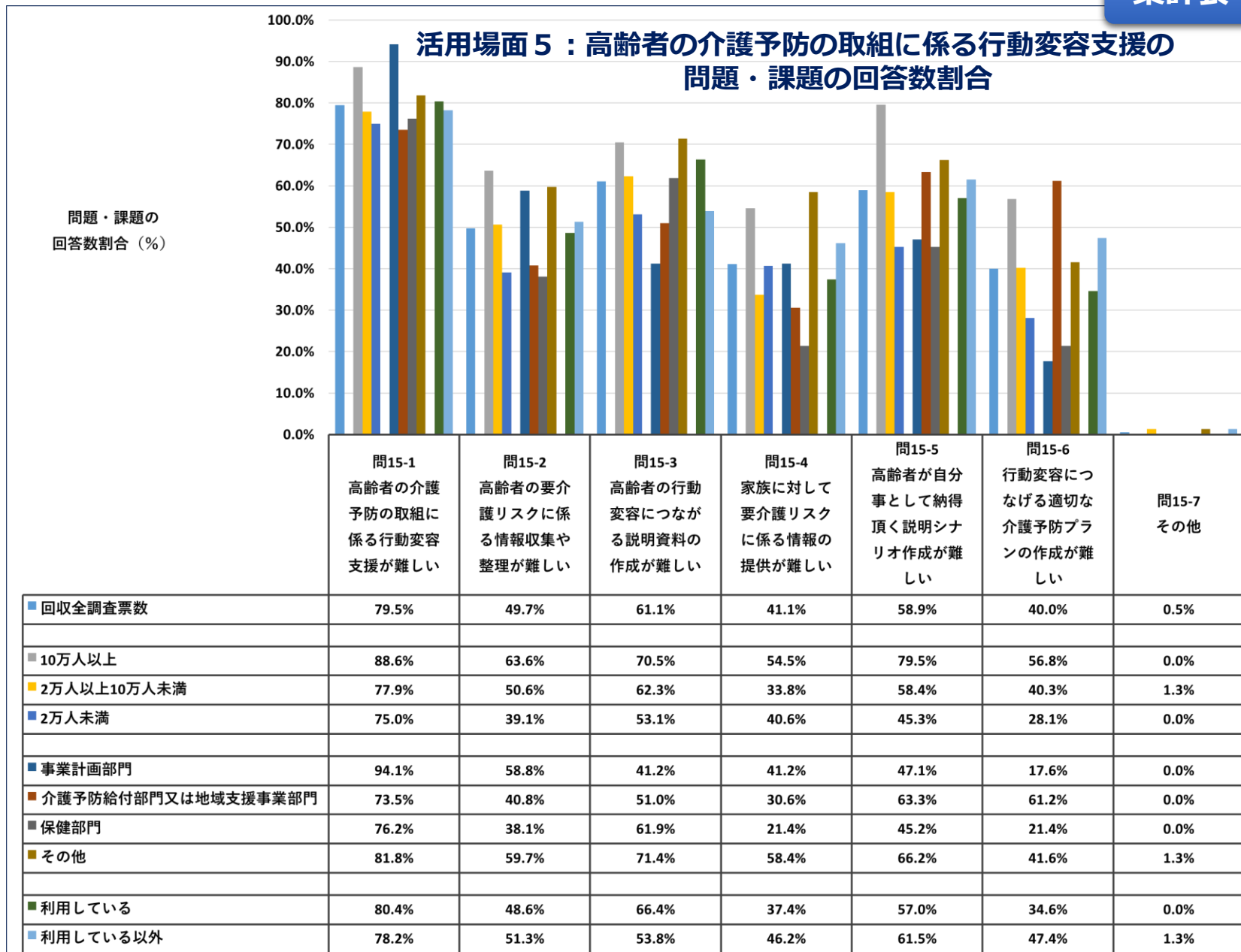
問題・課題の
回答数割合 (%)

問題・課題	問14-1 他職種とのスムーズな連携が難しい	問14-2 高齢者が受診する多数の医療機関からの情報入手が難しい	問14-3 担当医師等からのタイムリーな医療情報入手が難しい	問14-4 医療情報の介護予防施策への活用が難しい	問14-5 関係医療機関等に対して客観的情報に基づいた説明が難しい	問14-6 スムーズな連携による質の高い予防プランの作成が難しい	問14-7 その他
回収全調査票数	40.0%	58.9%	58.3%	57.7%	30.9%	35.4%	0.6%
10万人以上	67.5%	62.5%	65.0%	70.0%	42.5%	60.0%	0.0%
2万人以上10万人未満	35.6%	58.9%	54.8%	61.6%	28.8%	24.7%	1.4%
2万人未満	27.4%	56.5%	58.1%	45.2%	25.8%	32.3%	0.0%
事業計画部門	56.3%	43.8%	50.0%	75.0%	25.0%	31.3%	0.0%
介護予防給付部門又は地域支援事業部門	36.4%	59.1%	54.5%	52.3%	36.4%	50.0%	0.0%
保健部門	38.1%	57.1%	50.0%	47.6%	16.7%	14.3%	0.0%
その他	39.7%	63.0%	67.1%	63.0%	37.0%	39.7%	1.4%
利用している	40.8%	57.3%	59.2%	53.4%	31.1%	32.0%	0.0%
利用していない	38.9%	61.1%	56.9%	63.9%	30.6%	40.3%	1.4%

問 1 5 活用場面 5 問題・課題の回答数割合

集計表 No.7

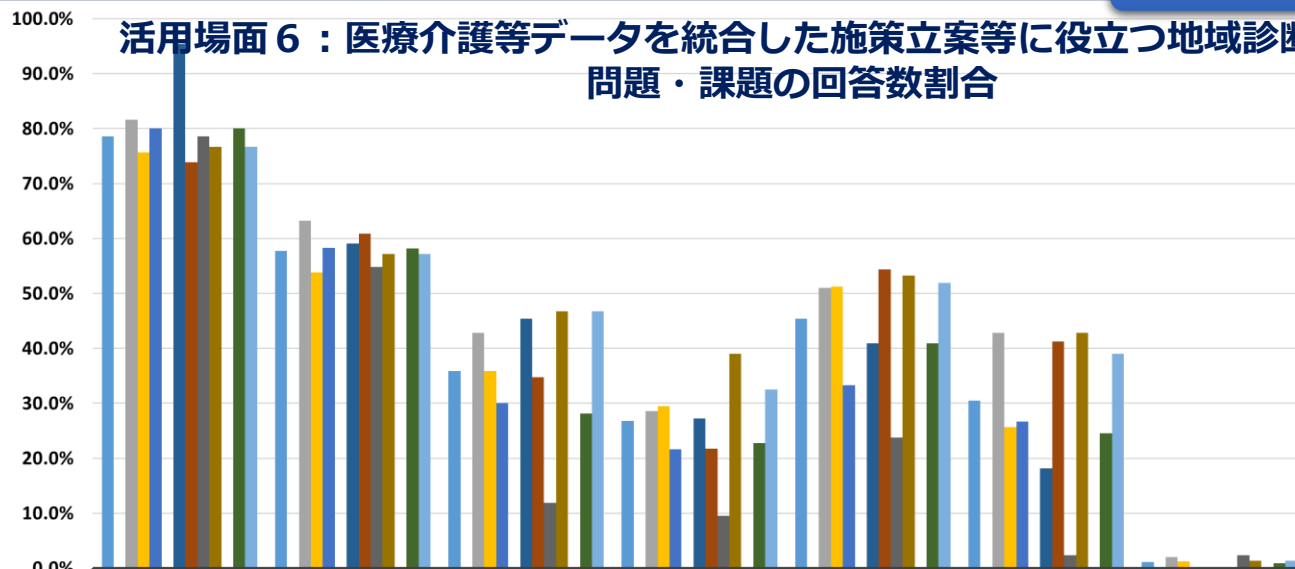
人口区分
部門区分
データ利用区分



問16 活用場面6 問題・課題の回答数割合

集計表 No.8

活用場面6：医療介護等データを統合した施策立案等に役立つ地域診断の問題・課題の回答数割合

問題・課題の
回答数割合 (%)

人口区分

部門区分

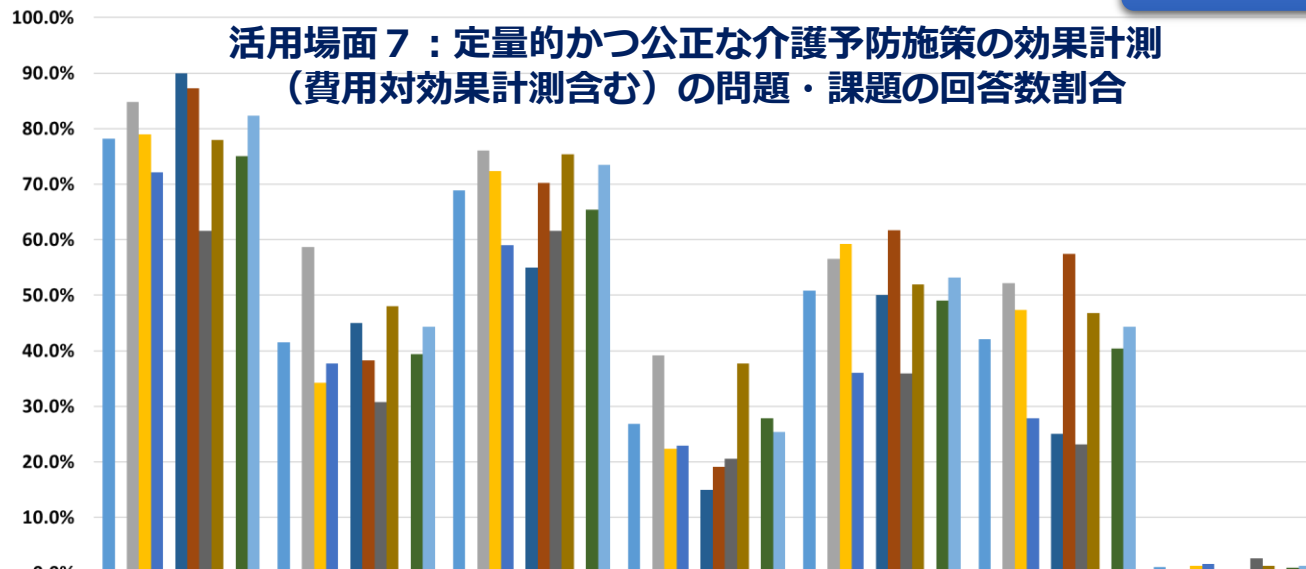
医療介護等
データ利用区分

問17 活用場面7 問題・課題の回答数割合

集計表 No.9

活用場面7：定量的かつ公正な介護予防施策の効果計測
(費用対効果計測含む)の問題・課題の回答数割合

問題・課題の
回答数割合 (%)



人口
区分

部門
区分

データ
利用
区分

付録

4. 問 1 1 ～ 1 7 7つの活用場面別における 問題・課題と各機能への期待度

4. 1 7つの活用場面別における問題・課題

4. 2 7つの活用場面別における期待度

問11－17 期待度の有効回答数 (加重平均計算向け)

(「5. わからない」を除く且つ問題・課題が回答あり) (1 / 4)

設問	期待度の回答数 (「5. わからない」を除く且つ問題・課題が回答あり)									
	回収全調査票数	人口区分			部門区分				医療介護等データ利用区分	
		10万人以上	2万人以上、10万人未満	2万人未満	事業計画部門	介護予防給付部門又は地域支援事業部門	保健部門	その他	利用している	利用していない以外
問11-1 介護予防スクリーニングの適切な実施が難しい	116	29	50	37	12	32	21	51	63	53
問11-2 聞き取りと基本チェックリストのみでの判断が難しい	92	24	39	29	12	26	21	33	49	43
問11-3 通いの場に繋げるべきか否かの判断が難しい	40	15	11	14	5	8	6	21	18	22
問11-4 介護予防等サービスを利用するか否かの判断が難しい	63	20	22	21	8	16	12	27	32	31
問11-5 保健部門に繋げるべきか否かの判断が難しい	37	10	12	15	6	9	4	18	17	20
問11-6 医療機関へ繋げるべきか否かの判断が難しい	47	12	16	19	6	9	11	21	25	22
問11-7 その他	2	0	2	0	1	0	0	1	0	2
問12-1 介護予防対象者への効率と効果の高いアウトリーチが難しい	122	27	48	47	11	30	27	54	74	48
問12-2 通いの場への効果的な対象高齢者の抽出が難しい	69	22	27	20	5	19	10	35	37	32
問12-3 高齢者の要介護リスクが高い低い判断が難しい	73	16	35	22	10	17	10	36	40	33
問12-4 対象高齢者数が多過ぎ優先順位付けが難しい	65	21	27	17	4	21	10	30	37	28
問12-5 現状の専門職体制を踏まえた効果的なアウトリーチが難しい	101	25	34	42	8	25	28	40	59	42
問12-6 市町村等が取り組んだアウトリーチ効果の見極めが難しい	94	26	38	30	10	24	25	35	56	38
問12-7 その他	2	0	2	0	0	0	1	1	1	1

問11－17 期待度の有効回答数（加重平均計算向け）
（「5. わからない」を除く且つ問題・課題が回答あり）（2／4）

設問	期待度の回答数 （「5. わからない」を除く且つ問題・課題が回答あり）									
	回収全調査票数	人口区分			部門区分				医療介護等データ利用区分	
		10万人以上	2万人以上、10万人未満	2万人未満	事業計画部門	介護予防給付部門又は地域支援事業部門	保健部門	その他	利用している	利用していない以外
問13-1 地域ケア会議等の効率と質の向上が難しい	99	29	38	32	8	32	15	44	53	46
問13-2 協議すべきケースの系統的かつ客観的な選定が難しい	77	18	29	30	8	28	9	32	33	44
問13-3 傷病や服薬の履歴情報等のスムーズな収集が難しい	45	14	17	14	4	11	10	20	26	19
問13-4 会議に役立つ資料の効率的な作成が難しい	74	25	29	20	9	23	8	34	43	31
問13-5 本質的な課題や解決策の協議への集中することが難しい	72	21	30	21	6	20	10	36	36	36
問13-6 今後に役立つ事例検討結果の蓄積していくことが難しい	72	23	30	19	5	25	7	35	34	38
問13-7 その他	3	0	3	0	0	0	2	1	2	1
問14-1 他職種とのスムーズな連携が難しい	70	27	26	17	9	16	16	29	42	28
問14-2 高齢者が受診する多数の医療機関からの情報入手が難しい	103	25	43	35	7	26	24	46	59	44
問14-3 担当医師等からのタイムリーな医療情報入手が難しい	102	26	40	36	8	24	21	49	61	41
問14-4 医療情報の介護予防施策への活用が難しい	101	28	45	28	12	23	20	46	55	46
問14-5 関係医療機関等に対して客観的情報に基づいた説明が難しい	54	17	21	16	4	16	7	27	32	22
問14-6 スムーズな連携による質の高い予防プランの作成が難しい	62	24	18	20	5	22	6	29	33	29
問14-7 その他	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1

問11－17 期待度の有効回答数（加重平均計算向け）
（「5. わからない」を除く且つ問題・課題が回答あり）（3／4）

設問	期待度の回答数 （「5. わからない」を除く且つ問題・課題が回答あり）									
	回収全調査票数	人口区分			部門区分				医療介護等データ利用区分	
		10万人以上	2万人以上、10万人未満	2万人未満	事業計画部門	介護予防給付部門又は地域支援事業部門	保健部門	その他	利用している	利用していない以外
問15-1 高齢者の介護予防の取組に係る行動変容支援が難しい	147	39	60	48	16	36	32	63	86	61
問15-2 高齢者の要介護リスクに係る情報収集や整理が難しい	92	28	39	25	10	20	16	46	52	40
問15-3 高齢者の行動変容につながる説明資料の作成が難しい	113	31	48	34	7	25	26	55	71	42
問15-4 家族に対して要介護リスクに係る情報の提供が難しい	76	24	26	26	7	15	9	45	40	36
問15-5 高齢者が自分事として納得頂く説明シナリオ作成が難しい	109	35	45	29	8	31	19	51	61	48
問15-6 行動変容につなげる適切な介護予防プランの作成が難しい	74	25	31	18	3	30	9	32	37	37
問15-7 その他	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1
問16-1 医療介護等データ活用による地域毎の実態把握が難しい	147	40	59	48	21	34	33	59	88	59
問16-2 地域毎にみた介護につながる傷病割合の把握が難しい	108	31	42	35	13	28	23	44	64	44
問16-3 介護予防サービスや専門職体制の地域毎の最適配置が難しい	67	21	28	18	10	16	5	36	31	36
問16-4 脳卒中や大腿骨骨折リスク踏まえた保健側との連携が難しい	50	14	23	13	6	10	4	30	25	25
問16-5 フレイルリスクを踏まえた地域毎の通いの場整備が難しい	85	25	40	20	9	25	10	41	45	40
問16-6 地域毎の認知症初期集中支援体制の最適整備が難しい	57	21	20	16	4	19	1	33	27	30
問16-7 その他	2	1	1	0	0	0	1	1	1	1

問 1 1－1 7 期待度の有効回答数 （加重平均計算向け）
 （「5. わからない」を除く且つ問題・課題が回答あり）（4 / 4）

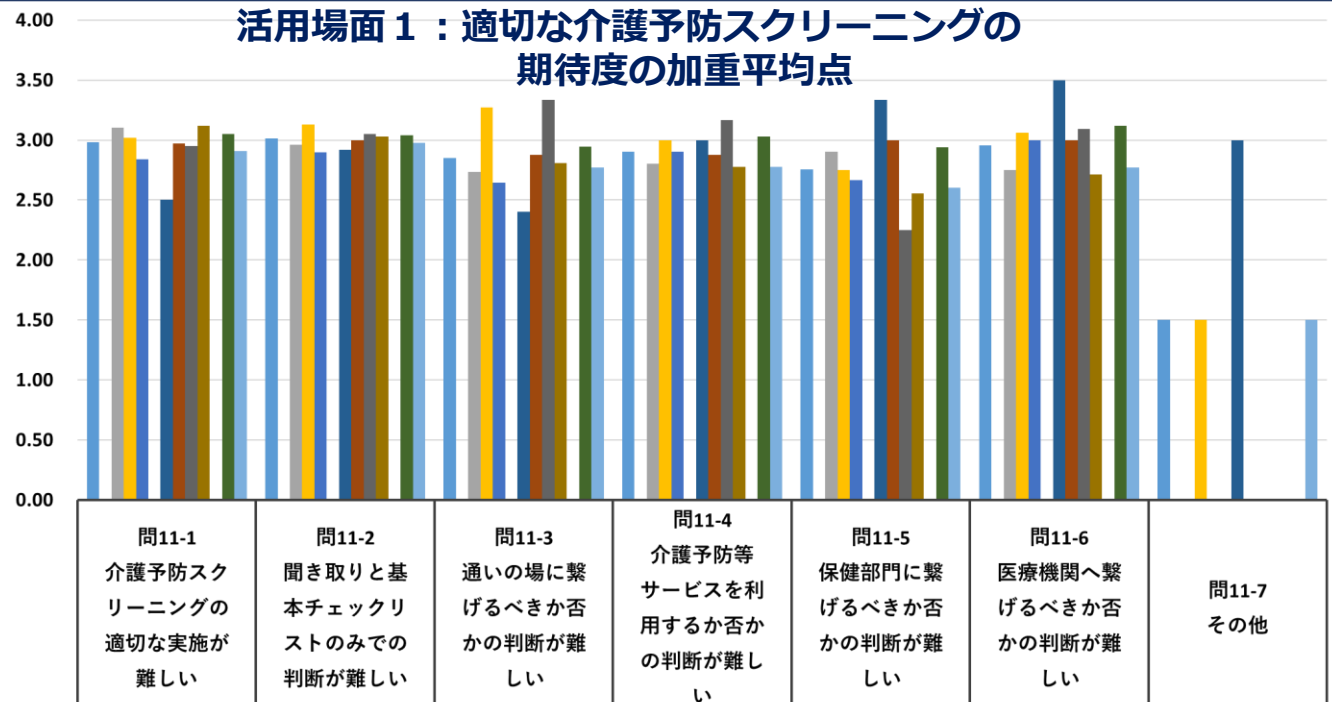
設問	期待度の回答数 （「5. わからない」を除く且つ問題・課題が回答あり）									
	回収全調査票数	人口区分			部門区分				医療介護等データ利用区分	
		10万人以上	2万人以上、10万人未満	2万人未満	事業計画部門	介護予防給付部門又は地域支援事業部門	保健部門	その他	利用している	利用していない以外
問17-1 介護予防施策の定量的かつ公正な評価が難しい	143	39	60	44	18	41	24	60	78	65
問17-2 要介護度等の介護指標では傷病の影響等含む評価が難しい	76	27	26	23	9	18	12	37	41	35
問17-3 通いの場の効果が高いと実感するが客観的に示すのが難しい	126	35	55	36	11	33	24	58	68	58
問17-4 実際に実践する専門職チーム毎の公正な評価が難しい	49	18	17	14	3	9	8	29	29	20
問17-5 通いの場への高齢者参加促進のための情報提供が難しい	93	26	45	22	10	29	14	40	51	42
問17-6 通いの場増設等に向け関係者が納得する情報の提示が難しい	77	24	36	17	5	27	9	36	42	35
問17-7 その他	2	0	1	1	0	0	1	1	1	1

問 1 1 活用場面 1 期待度の加重平均点

集計表 No.10

活用場面 1：適切な介護予防スクリーニングの
期待度の加重平均点

期待度の加重平均点



期待度の加重平均の定義
方法は「5わからない」
を除く選択肢に対して以下
の重み付けを行い、有効
回答数で加重平均。

- 1 大いに期待する ⇒ 4点
2 期待する ⇒ 3点
3 余り期待しない ⇒ 2点
4 全く期待しない ⇒ 1点

人口区分

部門区分

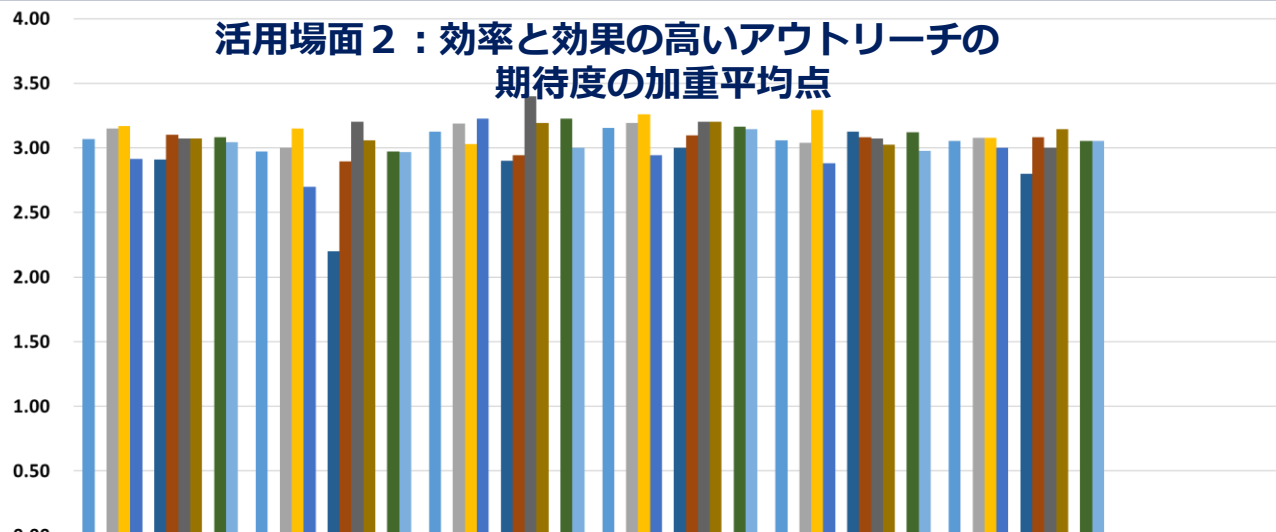
データ利用区分
医療介護等

問 1 2 活用場面 2 期待度の加重平均点

集計表 No.11

活用場面 2 : 効率と効果の高いアウトリーチの
期待度の加重平均点

期待度の加重平均点



期待度の加重平均の定義
方法は「5わからない」
を除く選択肢に対して以
下の重み付けを行い、有
効回答数で加重平均。

1 大いに期待する ⇒ 4点
2 期待する ⇒ 3点
3 余り期待しない ⇒ 2点
4 全く期待しない ⇒ 1点

人口
区分部
門
区
分医
療
介
護
等
デ
ー
タ
利
用
区
分

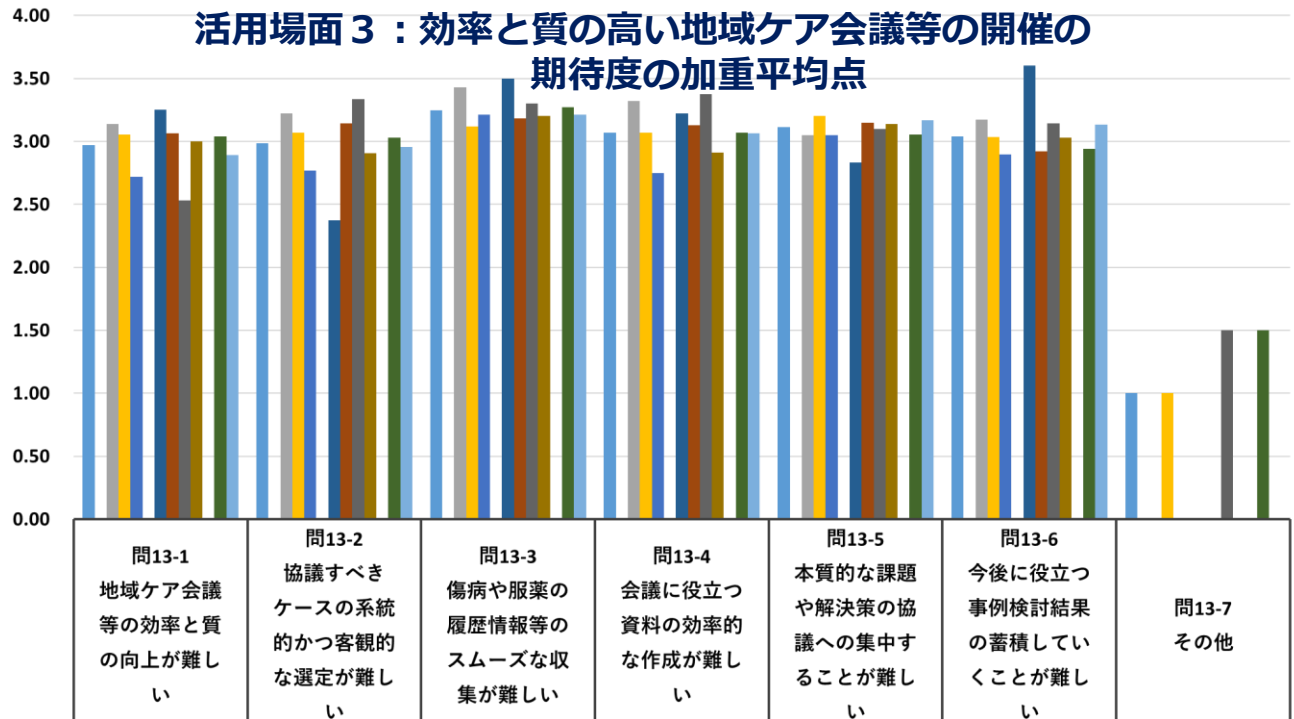
	問12-1 介護予防対象 者への効率と 効果の高いア ウトリーチが 難しい	問12-2 通いの場への 効果的な対象 高齢者の抽出 が難しい	問12-3 高齢者の要介 護リスクが高 い低いの判断 が難しい	問12-4 対象高齢者数 が多過ぎ優先 順位付けが難 しい	問12-5 現状の専門職 体制を踏まえ た効果的なア ウトリーチが 難しい	問12-6 市町村等が取 り組んだアウ トリーチ効果 の見極めが難 しい	問12-7 その他
■ 回収全調査票数	3.07	2.97	3.12	3.15	3.06	3.05	0.00
■ 10万人以上	3.15	3.00	3.19	3.19	3.04	3.08	0.00
■ 2万人以上10万人未満	3.17	3.15	3.03	3.26	3.29	3.08	0.00
■ 2万人未満	2.91	2.70	3.23	2.94	2.88	3.00	0.00
■ 事業計画部門	2.91	2.20	2.90	3.00	3.13	2.80	0.00
■ 介護予防給付部門又は地域支援事業部門	3.10	2.89	2.94	3.10	3.08	3.08	0.00
■ 保健部門	3.07	3.20	3.40	3.20	3.07	3.00	0.00
■ その他	3.07	3.06	3.19	3.20	3.03	3.14	0.00
■ 利用している	3.08	2.97	3.23	3.16	3.12	3.05	0.00
■ 利用していない	3.04	2.97	3.00	3.14	2.98	3.05	0.00

問 1 3 活用場面 3 期待度の加重平均点

集計表 No.12

活用場面 3 : 効率と質の高い地域ケア会議等の開催の
期待度の加重平均点

期待度の加重平均点



期待度の加重平均の定義
方法は「5わからない」
を除く選択肢に対して以
下の重み付けを行い、有
効回答数で加重平均。

- 1 大いに期待する ⇒ 4点
2 期待する ⇒ 3点
3 余り期待しない ⇒ 2点
4 全く期待しない ⇒ 1点

人口区分

部門区分

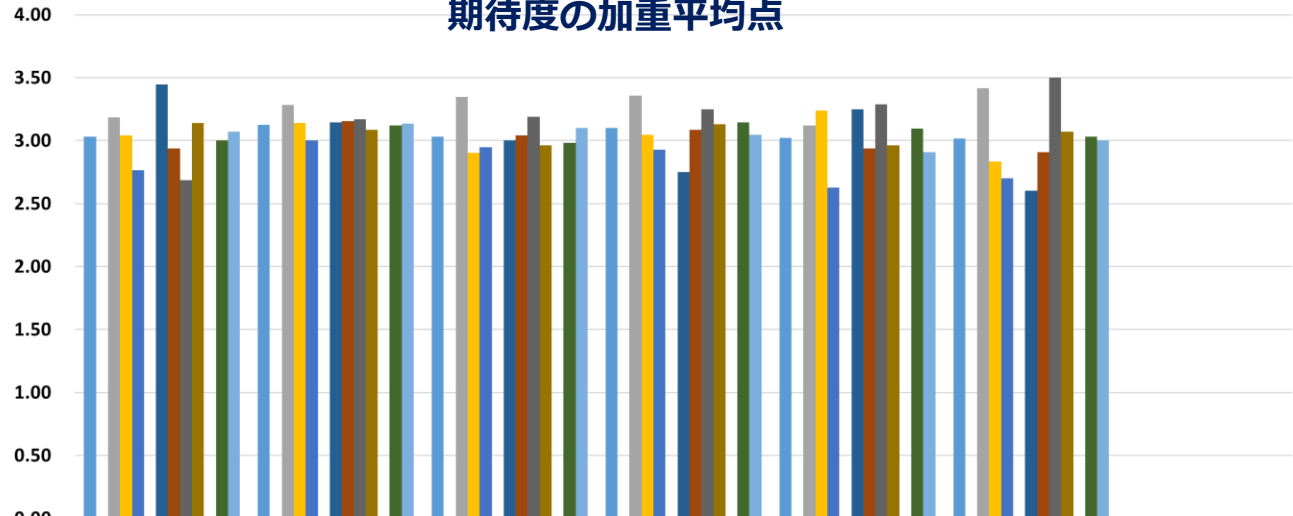
医療
介護等
利用区分

問14 活用場面4 期待度の加重平均点

集計表 No.13

活用場面4：他職種とのスムーズな連携による効率と質の高い予防マネジメントの期待度の加重平均点

期待度の加重平均点



期待度の加重平均の定義
方法は「5わからない」
を除く選択肢に対して以下
の重み付けを行い、有効
回答数で加重平均。

- 1 大いに期待する ⇒ 4点
2 期待する ⇒ 3点
3 余り期待しない ⇒ 2点
4 全く期待しない ⇒ 1点

人口区分

部門区分

医療介護等
データ利用区分

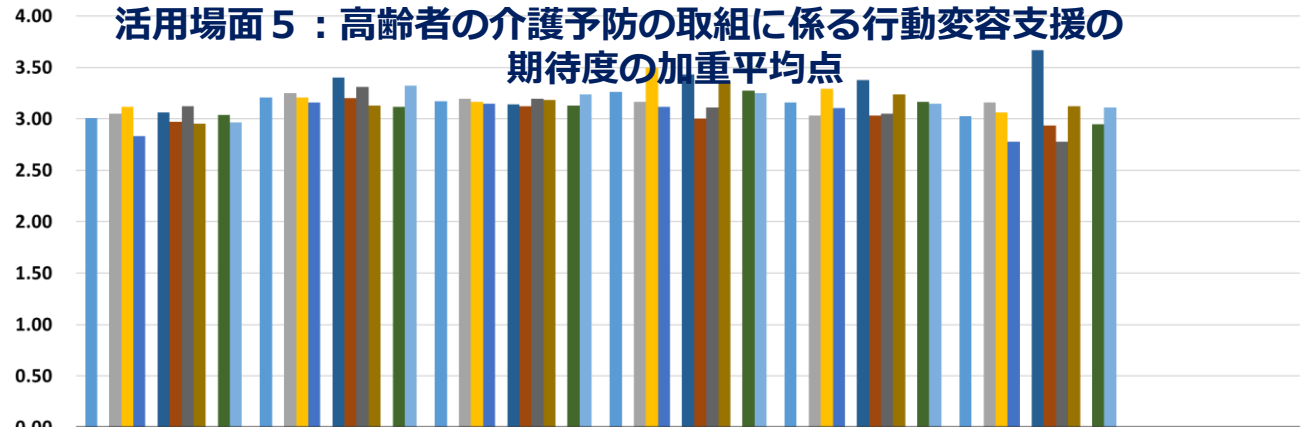
回収全調査票数	3.03	3.13	3.03	3.10	3.02	3.02	0.00
10万人以上	3.19	3.28	3.35	3.36	3.12	3.42	0.00
2万人以上10万人未満	3.04	3.14	2.90	3.04	3.24	2.83	0.00
2万人未満	2.76	3.00	2.94	2.93	2.63	2.70	0.00
事業計画部門	3.44	3.14	3.00	2.75	3.25	2.60	0.00
介護予防給付部門又は地域支援事業部門	2.94	3.15	3.04	3.09	2.94	2.91	0.00
保健部門	2.69	3.17	3.19	3.25	3.29	3.50	0.00
その他	3.14	3.09	2.96	3.13	2.96	3.07	0.00
利用している	3.00	3.12	2.98	3.15	3.09	3.03	0.00
利用している以外	3.07	3.14	3.10	3.04	2.91	3.00	0.00

問 1 5 活用場面 5 期待度の加重平均点

集計表 No.14

活用場面 5：高齢者の介護予防の取組に係る行動変容支援の期待度の加重平均点

期待度の加重平均点



期待度の加重平均の定義
方法は「5わからない」
を除く選択肢に対して以
下の重み付けを行い、有
効回答数で加重平均。

- 1 大いに期待する ⇒ 4点
2 期待する ⇒ 3点
3 余り期待しない ⇒ 2点
4 全く期待しない ⇒ 1点

人口区分

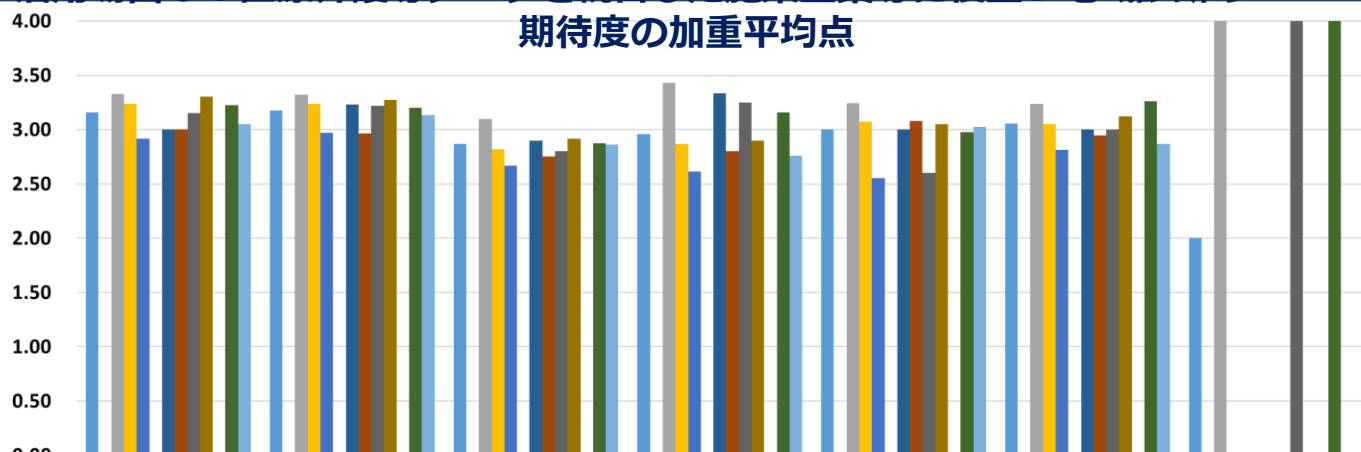
部門区分

医療介護等
データ利用区分

問16 活用場面6 期待度の加重平均点

集計表 No.15

活用場面6：医療介護等データを統合した施策立案等に役立つ地域診断の期待度の加重平均点



人口区分

部門区分

医療介護等
データ利用区分

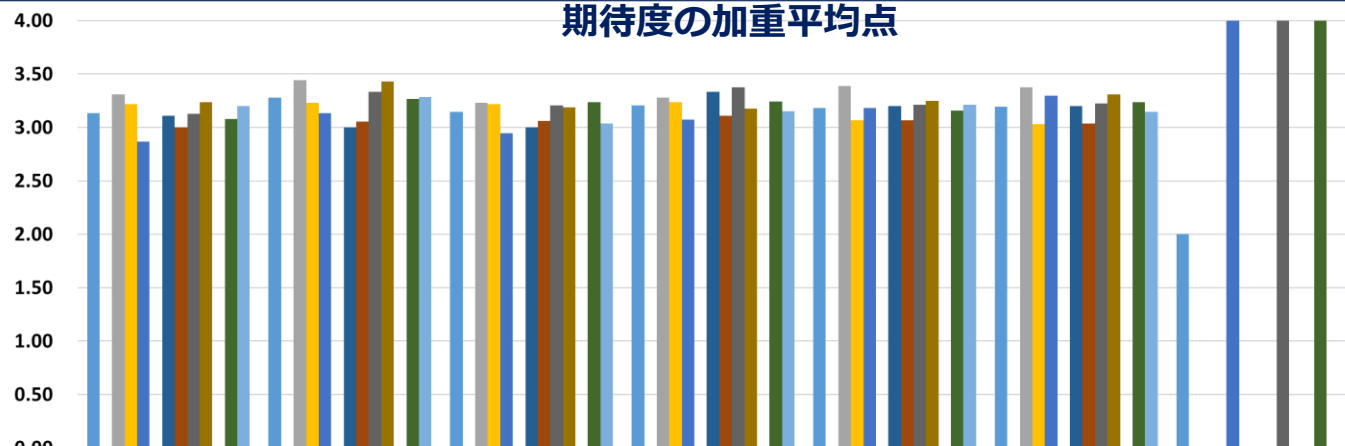
	問16-1 医療介護等 データ活用による地域毎の実態把握が難しい	問16-2 地域毎にみた介護につながる傷病割合の把握が難しい	問16-3 介護予防サービスや専門職体制の地域毎の最適配置が難しい	問16-4 脳卒中や大腿骨骨折リスク踏まえた保健側との連携が難しい	問16-5 フレイルリスクを踏まえた地域毎の通いの場整備が難しい	問16-6 地域毎の認知症初期集中支援体制の最適整備が難しい	問16-7 その他
■ 回収全調査票数	3.16	3.18	2.87	2.96	3.00	3.05	2.00
■ 10万人以上	3.33	3.32	3.10	3.43	3.24	3.24	4.00
■ 2万人以上10万人未満	3.24	3.24	2.82	2.87	3.08	3.05	0.00
■ 2万人未満	2.92	2.97	2.67	2.62	2.55	2.81	0.00
■ 事業計画部門	3.00	3.23	2.90	3.33	3.00	3.00	0.00
■ 介護予防給付部門又は地域支援事業部門	3.00	2.96	2.75	2.80	3.08	2.95	0.00
■ 保健部門	3.15	3.22	2.80	3.25	2.60	3.00	4.00
■ その他	3.31	3.27	2.92	2.90	3.05	3.12	0.00
■ 利用している	3.23	3.20	2.87	3.16	2.98	3.26	4.00
■ 利用している以外	3.05	3.14	2.86	2.76	3.03	2.87	0.00

問 1 7 活用場面 7 期待度の加重平均点

集計表 No.16

活用場面 7 : 定量的かつ公正な介護予防施策の効果計測（費用対効果計測含む）の期待度の加重平均点

期待度の加重平均点



期待度の加重平均の定義
方法は「5わからない」
を除く選択肢に対して以
下の重み付けを行い、有
効回答数で加重平均。

- 1 大いに期待する ⇒ 4点
2 期待する ⇒ 3点
3 余り期待しない ⇒ 2点
4 全く期待しない ⇒ 1点

人口区分

部門区分

データ利用区分
医療介護等

付録

5. 問 1 8 全体を通じての要望等

問18 調査票数

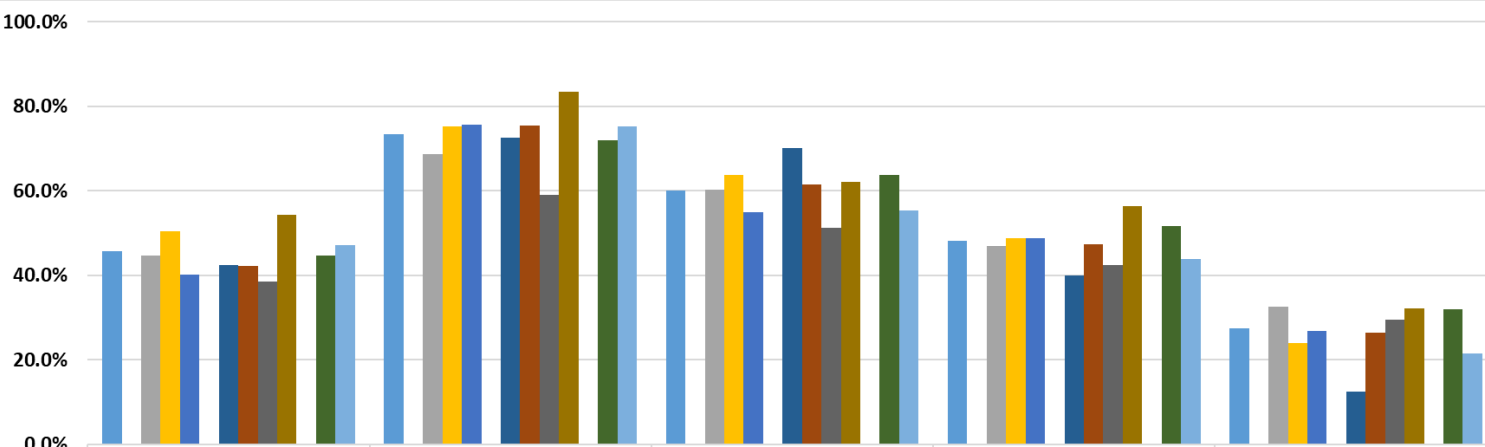
No.	問題・課題	回収全調査票数	人口区分			部門区分				医療介護等データ利用区分	
			10万人以上	2万人以上 10万人未満	2万人未満	事業計画 部門	介護予防 給付部門 又は地域 支援事業 部門	保健部門	その他	利用している	利用していない 以外
1	調査票数	278	83	113	82	40	57	78	103	157	121

No.	問題・課題	回収全調査票数	人口区分			部門区分				医療介護等データ利用区分	
			10万人以上	2万人以上 10万人未満	2万人未満	事業計画 部門	介護予防 給付部門 又は地域 支援事業 部門	保健部門	その他	利用している	利用していない 以外
1	エビデンスデータ等に基づいた事業計画のPDCAが回せるようにして欲しい	127	37	57	33	17	24	30	56	70	57
2	技術に精通する人材でなくても、簡単に操作して必要な資料が作れるようにして欲しい	204	57	85	62	29	43	46	86	113	91
3	データの二次加工等をせず、出力資料がそのまま使えるようにして欲しい	167	50	72	45	28	35	40	64	100	67
4	保健・医療・介護の専門職への提示資料としても、活かせるようにして欲しい	134	39	55	40	16	27	33	58	81	53
5	高齢者の傷病状態や服薬状況の履歴等についても、把握できるようにして欲しい	76	27	27	22	5	15	23	33	50	26
6	KDBデータとその他データ(介護予防取組み等)を、連携できるようにして欲しい	129	38	48	43	9	27	40	53	87	42
7	高齢者状態の把握に向けて、長期間の時系列追跡ができるようにして欲しい	101	33	45	23	13	21	23	44	58	43
8	データ等の利用権限管理が徹底され、希望部署は自由に利用できるようにして欲しい	78	27	29	22	8	15	21	34	45	33
9	データ分析やシステム等の利用に係る財政的負担を軽減して欲しい	98	32	33	33	18	18	23	39	49	49
10	介護予防に加えて、介護(自立支援・重度化防止)や医療介護連携へも適用して欲しい	99	30	44	25	14	24	19	42	56	43
11	その他	4	0	3	1	0	0	3	1	4	0

問18 割合

			人口区分			部門区分				医療介護等データ利用区分	
No.	問題・課題	回収全調査票数	10万人以上	2万人以上 10万人未満	2万人未満	事業計画 部門	介護予防 給付部門 又は地域 支援事業 部門	保健部門	その他	利用している	利用していない 以外
1	エビデンスデータ等に基づいた事業計画のPDCAが回せるようにして欲しい	45.7%	44.6%	50.4%	40.2%	42.5%	42.1%	38.5%	54.4%	44.6%	47.1%
2	技術に精通する人材でなくても、簡単に操作して必要な資料が作れるようにして欲しい	73.4%	68.7%	75.2%	75.6%	72.5%	75.4%	59.0%	83.5%	72.0%	75.2%
3	データの二次加工等をせず、出力資料がそのまま使えるようにして欲しい	60.1%	60.2%	63.7%	54.9%	70.0%	61.4%	51.3%	62.1%	63.7%	55.4%
4	保健・医療・介護の専門職への提示資料としても、活かせるようにして欲しい	48.2%	47.0%	48.7%	48.8%	40.0%	47.4%	42.3%	56.3%	51.6%	43.8%
5	高齢者の傷病状態や服薬状況の履歴等についても、把握できるようにして欲しい	27.3%	32.5%	23.9%	26.8%	12.5%	26.3%	29.5%	32.0%	31.8%	21.5%
6	KDBデータとその他データ(介護予防取組み等)を、連携できるようにして欲しい	46.4%	45.8%	42.5%	52.4%	22.5%	47.4%	51.3%	51.5%	55.4%	34.7%
7	高齢者状態の把握に向けて、長期間の時系列追跡ができるようにして欲しい	36.3%	39.8%	39.8%	28.0%	32.5%	36.8%	29.5%	42.7%	36.9%	35.5%
8	データ等の利用権限管理が徹底され、希望部署は自由に利用できるようにして欲しい	28.1%	32.5%	25.7%	26.8%	20.0%	26.3%	26.9%	33.0%	28.7%	27.3%
9	データ分析やシステム等の利用に係る財政的負担を軽減して欲しい	35.3%	38.6%	29.2%	40.2%	45.0%	31.6%	29.5%	37.9%	31.2%	40.5%
10	介護予防に加えて、介護（自立支援・重度化防止）や医療介護連携へも適用して欲しい	35.6%	36.1%	38.9%	30.5%	35.0%	42.1%	24.4%	40.8%	35.7%	35.5%
11	その他	1.4%	0.0%	2.7%	1.2%	0.0%	0.0%	3.8%	1.0%	2.5%	0.0%

問18 割合グラフ (1/2)



問18-1
エビデンスデータ等に基づいた事業計画のPDCAが回せるようにして欲しい

問18-2
技術に精通する人材でなくても、簡単に操作して必要な資料が作れるようにして欲しい

問18-3
データの二次加工等をせず、出力資料がそのまま使えるようにして欲しい

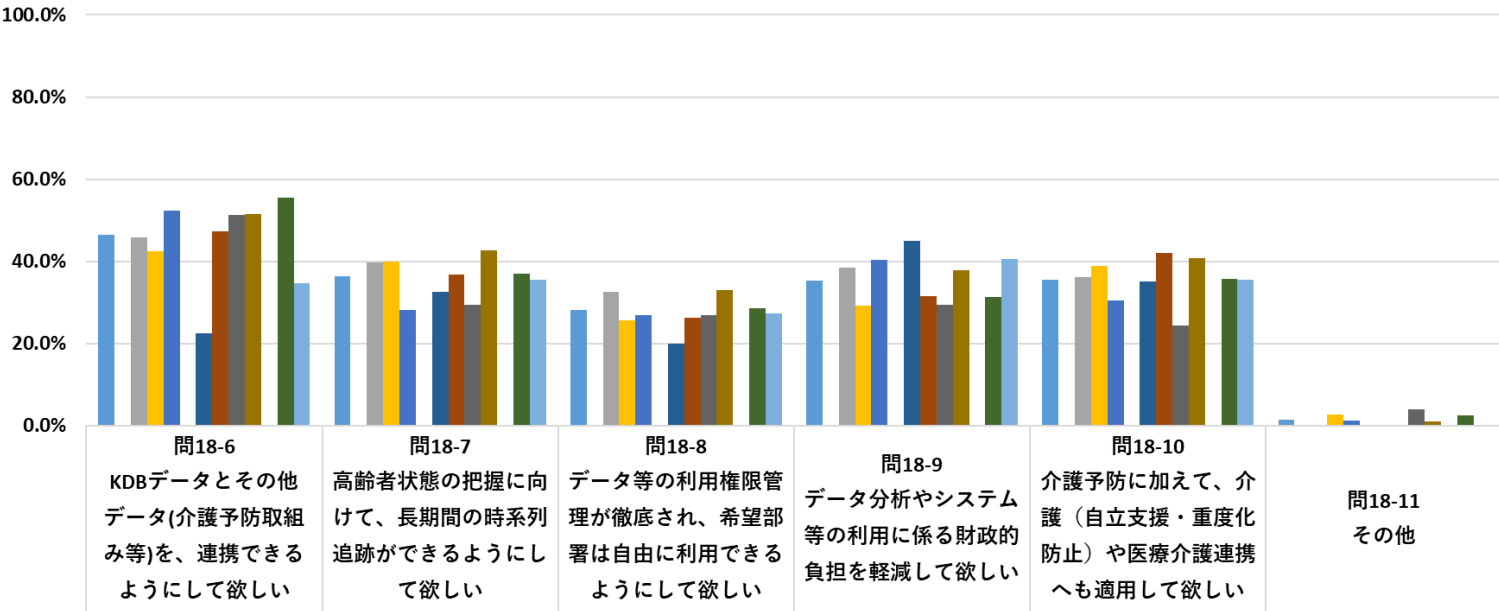
問18-4
保健・医療・介護の専門職への提示資料としても、活かせるようにして欲しい

問18-5
高齢者の傷病状態や服薬状況の履歴等についても、把握できるようにして欲しい

■ 回収全調査票数	45.7%	73.4%	60.1%	48.2%	27.3%
■ 10万人以上	44.6%	68.7%	60.2%	47.0%	32.5%
■ 2万人以上10万人未満	50.4%	75.2%	63.7%	48.7%	23.9%
■ 2万人未満	40.2%	75.6%	54.9%	48.8%	26.8%
■ 事業計画部門	42.5%	72.5%	70.0%	40.0%	12.5%
■ 介護予防給付部門又は地域支援事業部門	42.1%	75.4%	61.4%	47.4%	26.3%
■ 保健部門	38.5%	59.0%	51.3%	42.3%	29.5%
■ その他	54.4%	83.5%	62.1%	56.3%	32.0%
■ 利用している	44.6%	72.0%	63.7%	51.6%	31.8%
■ 利用している以外	47.1%	75.2%	55.4%	43.8%	21.5%

人口区分
部門区分
医療介護等
データ利用区分

問18 割合グラフ (2/2)



回収全調査票数	46.4%	36.3%	28.1%	35.3%	35.6%	1.4%
10万人以上	45.8%	39.8%	32.5%	38.6%	36.1%	0.0%
2万人以上10万人未満	42.5%	39.8%	25.7%	29.2%	38.9%	2.7%
2万人未満	52.4%	28.0%	26.8%	40.2%	30.5%	1.2%
事業計画部門	22.5%	32.5%	20.0%	45.0%	35.0%	0.0%
介護予防給付部門又は地域支援事業部門	47.4%	36.8%	26.3%	31.6%	42.1%	0.0%
保健部門	51.3%	29.5%	26.9%	29.5%	24.4%	3.8%
その他	51.5%	42.7%	33.0%	37.9%	40.8%	1.0%
利用している	55.4%	36.9%	28.7%	31.2%	35.7%	2.5%
利用していない	34.7%	35.5%	27.3%	40.5%	35.5%	0.0%